USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

EH415ST

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのOptoma EH415STの交換用ランプは、現在入手可能です。



Optoma EH415STプロジェクターランプ

部品番号：5811118924-SOT / BL-FP280J
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Optoma/EH415ST.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

目次

目次 1
使用上のご注意 3
安全に関する情報 3
安全上のご注意 4
目の安全に関する警告 6
はじめに 7
パッケージの内容 7
製品の各部名称 8
本体 8
接続ポート 9
リモコン 10
設置方法 11
プロジェクターの接続 11
ノートPCへの接続 11
ビデオソースへの接続 12
プロジェクターの電源オン/オフ 13
プロジェクターの電源を入れる 13
プロジェクターの電源オン/オフ 14
警告インジケータ 14
投射映像の調整 15
プロジェクターの高さを調整する 15
画像の垂直位置を調整する 15
投射映像サイズと投射距離（WXGA） 16
投射映像サイズと投射距離（1080p） 17
プロジェクタの画面サイズの調整（1080p ショートスロー） 18
ユーザーコントロール 19
リモコン 19
オンスクリーンメニュー 21
操作方法 21
メニューツリー 22
イメージ 24
イメージ | 詳細 26
イメージ | 詳細 | カラーマッチング 28
イメージ | 詳細 | 信号 29
ディスプレー 30
ディスプレー | 3D 32
設定 33
設定 | 言語 35
設定 | セキュリティ 36
設定 | 音声設定 39
設定 | 詳細 40
設定 | ネットワーク 41
設定 | LAN設定 42
設定 | コントロール設定 43

目次

オプション 44
オプション | 入力ソース 47
オプション | リモート設定 48
オプション | 詳細 49
オプション | ランプ設定 51
LAN_RJ45 53
付録 63
故障かなと思ったら 63
画像 63
その他 64
プロジェクタ LED 状態インジケータ 65
リモコン 66
ランプの交換 67
互換モード 70
ビデオ互換性 70
ビデオタイミングの詳細説明 70
コンピュータの互換性 - VESA標準 71
HDMI/DVI-Dの入力信号 72
True 3Dビデオ互換表 73
RS232 コマンドとプロトコル
機能リスト 74
RS232 ピン割り当て（プロジェクタ側） 74
RS232 プロトコル機能リスト 75
Telnetコマンド 79
AMX Device Discoveryコマンド 79
PJLink™のサポートされるコマンド 80
Trademarks 82
予めご了承ください 84
Optoma 社お問い合わせ先 85
規制と安全通知 87

バージョン：1

使用上のご注意

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検法など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B デジタル装置に関する制限

本Class B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制（Canadian Interference-Causing Equipment Regulations）のすべての 必要条件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的に破損している、または乱暴に扱われた痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱暴な扱いとは、次のような場合を言います（但し、これは一部の例です）:
   - 装置を落下させた。
   - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - プロジェクターに液体をこぼした。
   - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全標示については、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

使用上のご注意

安全上のご注意



この取扱説明書にあるすべての警告、安全上のご注意、および推奨されるメンテナンス方法に従ってください。

■■ 警告- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないで下さい。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

■■ 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。

■■ 警告- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

■■ 警告- ランプを交換する際は、本体を十分に放熱させてから行ってください。67ページに記載の手順に従ってください。

■■ 警告- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

■■ 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の「システム | ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してリセットします（51-52ページを参照）。

■■ 警告- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。

■■ 警告- プロジェクターの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。

■■ 警告- ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプを交換してください!」というメッセージが表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

注意

ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」（67ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

使用上のご注意



推奨事項:

- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

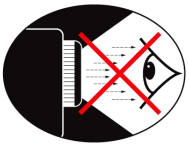


禁止事項:

- 換気用に設けられている本機のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に熱い、寒いまたは湿気の多い環境。
    - 室温が 5 - 40ºC の範囲に保たれていることを確認します
    - 相対湿度は 10 - 85%（最大）で、結露がないものとします
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の傍。
  - 直射日光の当たる場所。

使用上のご注意

目の安全に関する警告



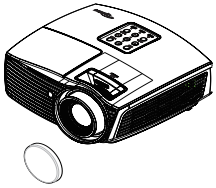
- プロジェクターの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接顔を向けることは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクターを教室で使用するとき、画面に映っているものを指摘するように生徒を求める場合は、適切に指導してください。
- ランプパワーを最小限に抑えるには、室内用ブラインドを使用して周囲光のレベルを下げてください。

注意

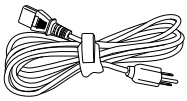
本マニュアルは後日参照できるように保管してください。

パッケージの内容

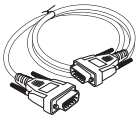
お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開け、以下の付属品がすべて入っているか中身をよくお確かめください。付属品が足りない場合、Optoma 顧客サービスにご連絡ください。



レンズ キャップ付プロジェクター



電源コード 1.8m



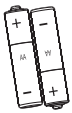
15 ピン D-sub VGA ケーブル

注意

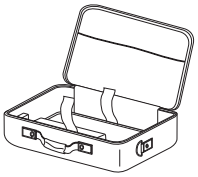
付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。



リモコン



単 3 電池(2 本)



キャリーケース

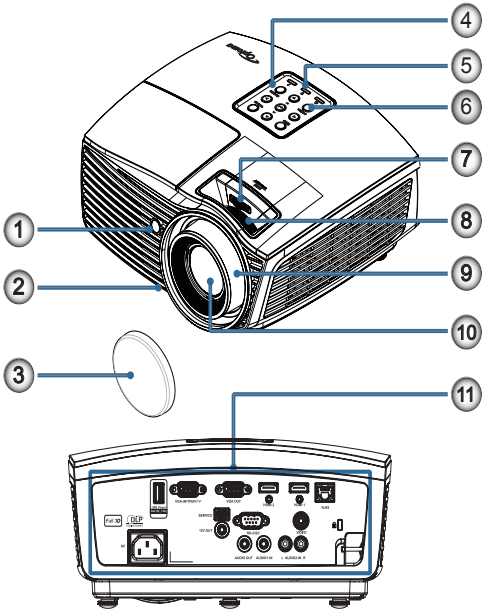
文書 :

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ 基本ユーザーマニュアル

はじめに

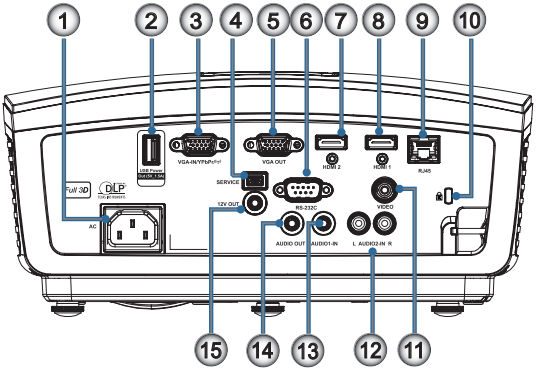
製品の各部名称

本体



1. IRレシーバー設定
2. チルト調整フット
3. レンズキャップ
4. ファンクションキー
5. LED インジケーター
6. 電源ボタン
7. レンズ位置調整（1080p ショートスローではご利用いただけません）
8. ズーム（1080p ショートスローではご利用いただけません）
9. フォーカス
10. レンズ
11. 接続ポート

接続ポート

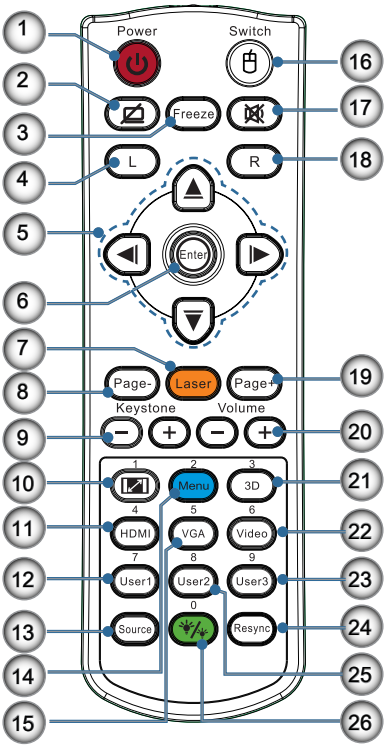


1. 電源ソケット
2. USB 電源出力（5V_1.5A）
3. VGA-IN/YPbPr/
4. サービス
5. VGA 出力
6. RS-232C
7. HDMI2
8. HDMI1
9. RJ-45
10. Kensington Microsaver™ロックポート
11. ビデオ
12. AUDIO2入力（左と右）
13. AUDIO1入力
14. 音声出力
15. 12V 出力

はじめに

リモコン

1. 電源オン/オフ
2. 
3. フリーズ
4. USB マウス左クリック
5. 4 方向選択キー
6. Enter（エンター）
7. レーザー（**目に当てないでください**）
8. ページ -
9. 垂直キーストン +/-
10. /1（パスワード入力のための数字ボタン）
11. ズーム
12. ユーザー1/7
13. ソース
14. Menu（メニュー）
15. VGA/5
16. スイッチ
17. 
18. USB マウス右クリック
19. ページ +
20. 音量 +/-
21. 3D/3
22. ビデオ/6
23. ユーザー3/9
24. 再同期
25. ユーザー2/8
26. /0



注意

ここに記されている手順以外のコントロール、調整、または操作を行った場合は、有害なレーザー光にさらされる危険があります。

2007年6月24日付けのレーザー通知に準じた偏差を除き、レーザー製品のFDA/パフォーマンス基準に適合します。

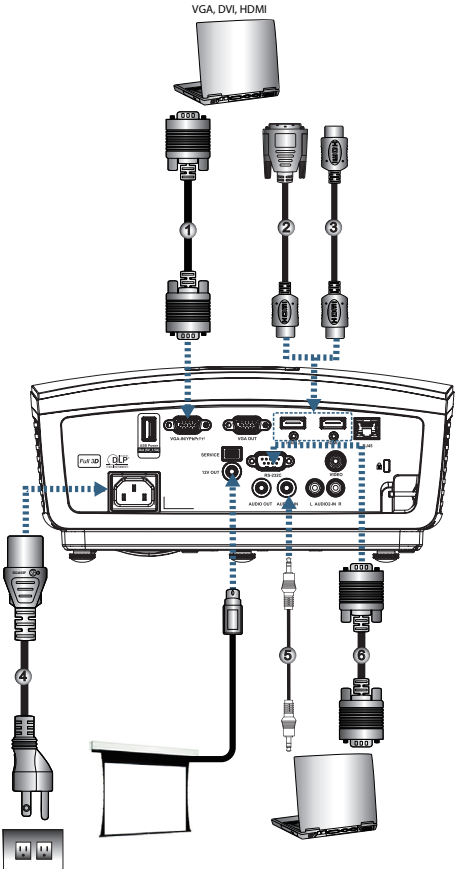
注意

汎用リモートであるため、機能はモデルに依存します。

設置方法

プロジェクターの接続

ノートPCへの接続



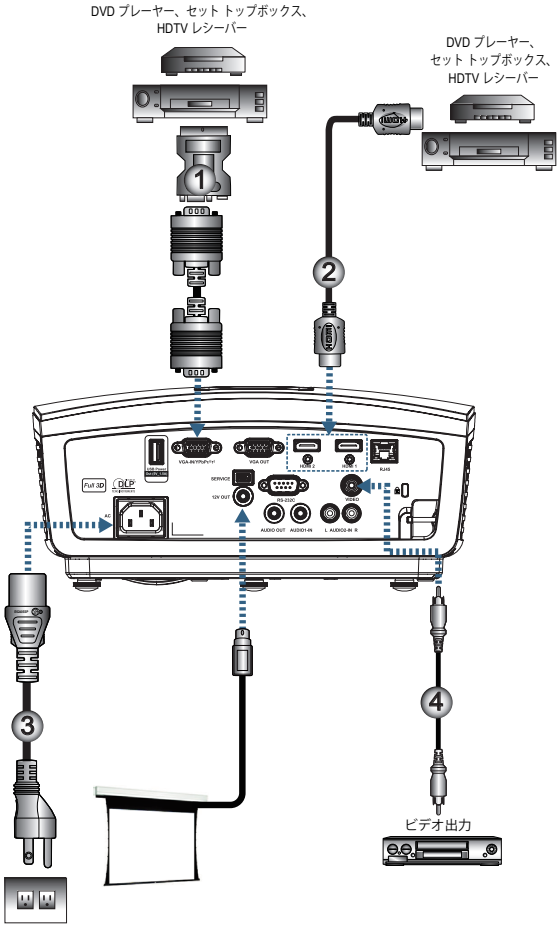
注意

付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1.....VGA 入力ケーブル
2.....DVI/HDMI ケーブル（オプションアクセサリ）
3.....HDMI ケーブル（オプションアクセサリ）
4.....電源コード
5.....オーディオケーブル（オプションアクセサリ）
6.....RS232 ケーブル（オプションアクセサリ）

設置方法

ビデオソースへの接続



注意

付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。

注意

12V 出力はプログラマブルトリガに使用します。

1..... SCART RGB/S ビデオアダプタ（オプションアクセサリ）
2..... HDMI ケーブル（オプションアクセサリ）
3.....電源コード
4..... コンポジットビデオケーブル（オプションアクセサリ）

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズカバーを取り外します。
2. 電源コードをプロジェクタに接続します。
3. 接続されたデバイスの電源をオンにします。
4. 電源 LED が点滅していることを確認したら、[Power] ボタンを押してプロジェクタをオンにします。

注意

まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

プロジェクタの起動ロゴ画面が表示され、接続されたデバイスが検出されます。接続されたデバイスがノート PC の場合、コンピュータキーボードの適切なキーを押してディスプレー出力をプロジェクタに切り替えます。(ディスプレー出力を変更する場合の適切な Fn キー組み合わせについては、ノート PC のユーザーマニュアルを確認してください)。

セキュリティロックが有効な場合、36ページのセキュリティ設定を参照してください。



注意

付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。

5. 複数の入力デバイスが接続されている場合、デバイスを切り替えるには [Source] ボタンを続けて押します。

   ソースを直接選択する場合、20ページを参照してください。



注意

12V 出力はプログラマブルトリガに使用します。

設置方法

プロジェクターの電源オン/オフ

1. プロジェクタをオフにするには、リモコンの [⏻] ボタンまたはプロジェクタのパネルの **[POWER]** ボタンを押します。
   一回目のボタンを押す動作で、次のメッセージが画面に表示されます。



   ボタンをもう一度押してシャットダウンを確認します。ボタンが押されなかった場合、メッセージの表示は 5 秒で終わります。
2. シャットダウン冷却サイクルの間、電源 LED が緑に点滅し（1秒オン、1秒オフ）、ファンの回転速度がアップします。電源LEDが緑に点滅すると（2秒オン、2秒オフ）、直ちにプロジェクタはスタンバイモードに達します。
   プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモードに入ったら、プロジェクター裏面またはリモコンの **[POWER]** ボタン [⏻] を押してプロジェクターを再起動します。
3. プロジェクタがスタンバイモードに入った場合のみ、コンセントとプロジェクタから電源コードを抜きます。

警告インジケータ

■ 「ランプ LED」インジケータが赤色に点灯している場合、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡してください。65ページを参照してください。

注意

このような症状が見られる場合は、最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。詳しくは、85ページを参照してください。

■ 「温度 LED」が赤色に点灯（点滅ではなく）している場合、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。通常の条件下で、冷却後に再びプロジェクターのスイッチをオンにできます。それでも問題が残る場合、最寄りの販売店または当社サービスセンターに連絡する必要があります。65ページを参照してください。

投射映像の調整

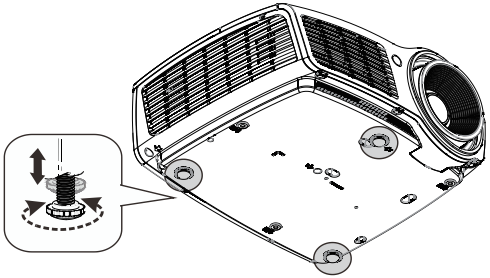
プロジェクターの高さを調整する

注意

- プロジェクタのテーブルまたはスタンドは、水平にしっかり置く必要があります。
- プロジェクタが画面に垂直になるように設置します。
- 安全のため、ケーブルは適切に固定してください。

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

画像の角度を調整するには、傾き調整用アジャスタを左または右に回して、希望する角度にします。

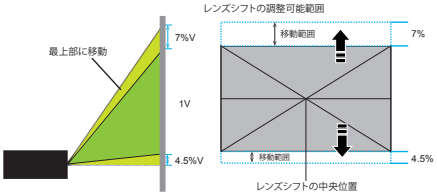


画像の垂直位置を調整する

レンズシフト機能を使用すると、位置を縦方向に調整できます。

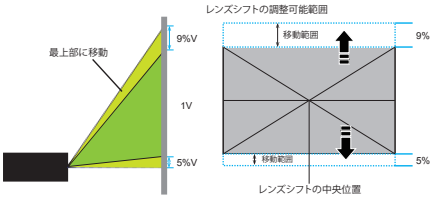
WXGA のレンズシフト調整

ディスプレイ位置は、ディスプレイから上方に7%まで、または下方に4.5%の角度まで傾けることができます。



1080P のレンズシフト調整

ディスプレイ位置は、ディスプレイから上方に9%まで、または下方に5%の角度まで傾けることができます。

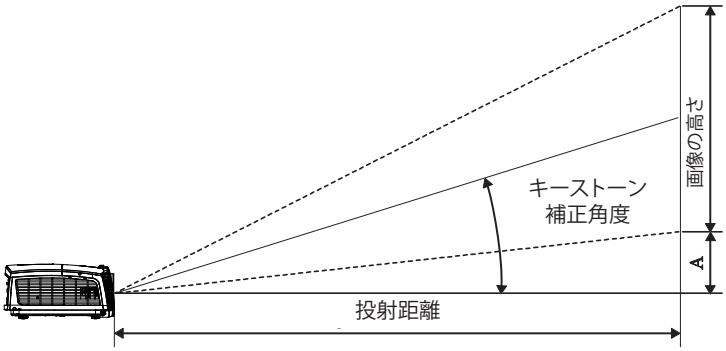


注意

レンズシフトは1080p ショートスローではご利用いただけません。

設置方法

投射映像サイズと投射距離（WXGA）



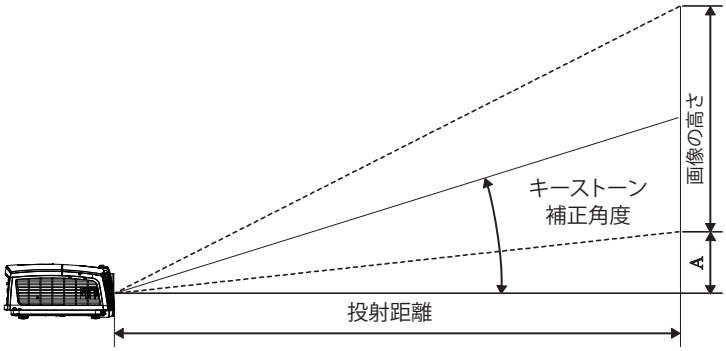
16:10 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:10）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	（m）		（フィート）		（m）		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	（m）	（フィート）
30	0.65	0.40	2.12	1.32	0.94	1.42	3.10	4.66	0.05	0.15
40	0.86	0.54	2.83	1.77	1.26	1.90	4.13	6.22	0.06	0.20
60	1.29	0.81	4.24	2.65	1.89	2.84	6.19	9.33	0.09	0.30
80	1.72	1.08	5.65	3.53	2.52	3.79	8.25	12.44	0.12	0.41
100	2.15	1.35	7.07	4.42	3.14	4.74	10.32	15.55	0.15	0.51
120	2.58	1.62	8.48	5.30	3.77	5.69	12.38	18.66	0.19	0.61
140	3.02	1.88	9.89	6.18	4.40	6.63	14.44	21.77	0.22	0.71
160	3.45	2.15	11.31	7.07	5.03	7.58	16.51	24.87	0.25	0.81
190	4.09	2.56	13.43	8.39	5.97	9.00	19.60	29.54	0.29	0.97
230	4.95	3.10	16.25	10.16	7.23	10.90	23.73	35.76	0.36	1.17
280	6.03	3.77	19.79	12.37	8.81	13.27	28.89	43.53	0.43	1.42
300	6.46	4.04	21.20	13.25	9.43	14.22	30.95	46.64	0.46	1.52

注意

300″（オーバードライブ装置）（アジアの場合）。

設置方法

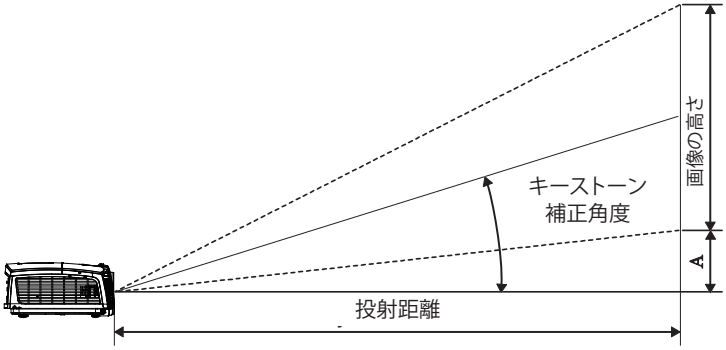
投射映像サイズと投射距離（1080p）



16:9 スクリーンの対角（インチ）	スクリーンサイズ 幅 X 高さ（16:9）				投射距離（D）				オフセット（A）	
	（m）		（フィート）		（m）		（フィート）			
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ	（m）	（フィート）
30″	0.66	0.37	2.18	1.23	0.92	1.39	3.03	4.55	0.06	0.18
40″	0.89	0.50	2.91	1.63	1.23	1.85	4.04	6.07	0.07	0.25
60″	1.33	0.75	4.36	2.45	1.85	2.78	6.06	9.11	0.11	0.37
80″	1.77	1.00	5.81	3.27	2.46	3.70	8.08	12.14	0.15	0.49
100″	2.21	1.25	7.26	4.09	3.08	4.63	10.10	15.18	0.19	0.61
120″	2.66	1.49	8.72	4.90	3.69	5.55	12.11	18.22	0.22	0.74
140″	3.10	1.74	10.17	5.72	4.31	6.48	14.13	21.25	0.26	0.86
160″	3.54	1.99	11.62	6.54	4.92	7.40	16.15	24.29	0.30	0.98
190″	4.21	2.37	13.80	7.76	5.85	8.79	19.18	28.84	0.35	1.16
230″	5.09	2.86	16.71	9.40	7.08	10.64	23.22	34.91	0.43	1.41
280″	6.20	3.49	20.34	11.44	8.62	12.96	28.27	42.50	0.52	1.72
300″	6.64	3.74	21.79	12.26	9.23	13.88	30.29	45.54	0.56	1.84

設置方法

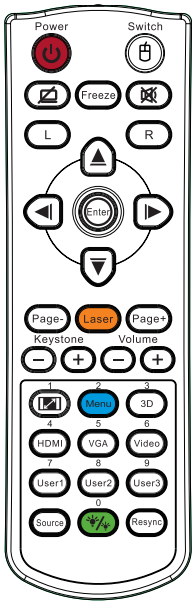
プロジェクタの画面サイズの調整（1080p ショートスロー）



16:9 スクリーンの対角(インチ)	スクリーンサイズ 幅 X 高さ (16:9)				投射距離（D）		オフセット (A)	
	(m)		(フィート)		(m)	(フィート)		
	幅	高さ	幅	高さ	幅	幅	(m)	(フィート)
60	1.33	0.75	4.36	2.45	0.66	2.18	0.11	0.37
80	1.77	1.00	5.81	3.27	0.89	2.91	0.15	0.49
100	2.21	1.25	7.26	4.09	1.11	3.63	0.19	0.61
120	2.66	1.49	8.72	4.90	1.33	4.36	0.22	0.74
140	3.10	1.74	10.17	5.72	1.55	5.08	0.26	0.86
153	3.39	1.91	11.11	6.25	1.69	5.56	0.29	0.94

ユーザーコントロール

リモコン



リモコンのボタン

電源オン/オフ	14ページの「プロジェクタの電源をオフにするには」のセクションをご参照ください。 13ページの「プロジェクタの電源をオンにするには」のセクションをご参照ください。
/スイッチ	USBを通してプロジェクタにPCを接続するとき、「マウススイッチ」を押してマウスモードをアクティブ/非アクティブにし、リモコンを使用してPCを制御します。
	画面非表示 & 消音
フリーズ	フリーズ
	消音
L	USB マウス左クリック
R	USB マウス右クリック
4 方向選択キー	1. ▲▼◄► を使って項目を選択するか、選択の調整を行います。 2. マウスモードで、方向キーのエミュレーションとして▲▼◄► を使用します。
Enter（エンター）	1. 項目選択を確認します。 2. マウスモードで、エミュレーションキーボードの入力キーとして。
ページ -	OSD がオフの時に USB 経由で USB キーボードをエミュレーションするには Page Down キーを使用します
レーザー	画面上のポインタを操作するにはレーザーを押します。
ページ +	OSD がオフの時に USB 経由で USB キーボードをエミュレーションするには Page Up キーを使用します
垂直キーストン +/-	プロジェクターのチルト調整（±40度）が原因の画像のゆがみを調整します。
音量 +/-	「音量 +/-」を押して音量を調整します。

注意

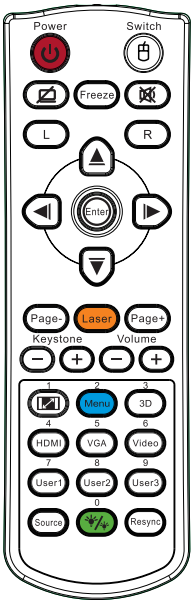
各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

注意

汎用リモートであるため、機能はモデルに依存します。

日本語

ユーザーコントロール



リモコンのボタン

/1	30ページの 「フォーマット」を参照してください。
MENU (メニュー)/2	[Menu (メニュー)] を押してオンスクリーン (OSD) メニュ ーを起動します。OSD を終了するには、[Menu (メニュー)] をもう一度押します。
3D/3	3Dを押して3Dメニューのオン/オフを切り替えます。
HDMI/4	[HDMI] を押して HDMI ソースを選択します。
VGA/5	[VGA] を押して、VGA- IN コネクタからのソースを選択します。
ビデオ/6	[ビデオ] を押してコンポジットビデオソースを選択します。
ユーザー1/7	48ページの「ユーザー1」を参照してください。
ユーザー2/8	48ページの「ユーザー2」を参照してください。
ユーザー3/9	48ページの「ユーザー3」を参照してください。
/0	輝度モードメニュー オン/オフ
ソース	[ソース]を押してソースを検索します。
再同期	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。

注意

各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

注意

汎用リモートであるため、機能はモデルに依存します。

注意

リモコン番号はパスワード使用時に使用します。

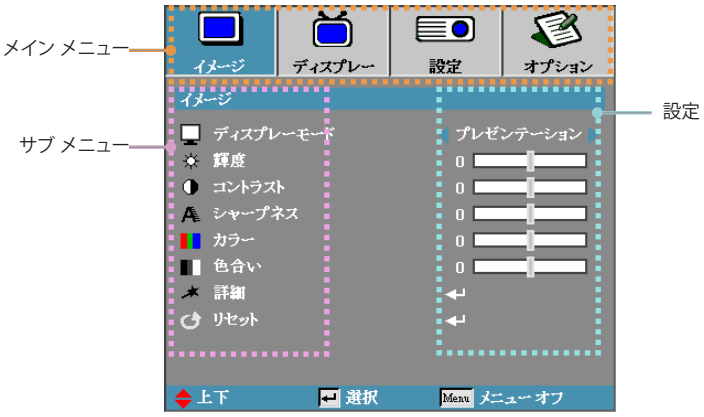
ユーザーコントロール

オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

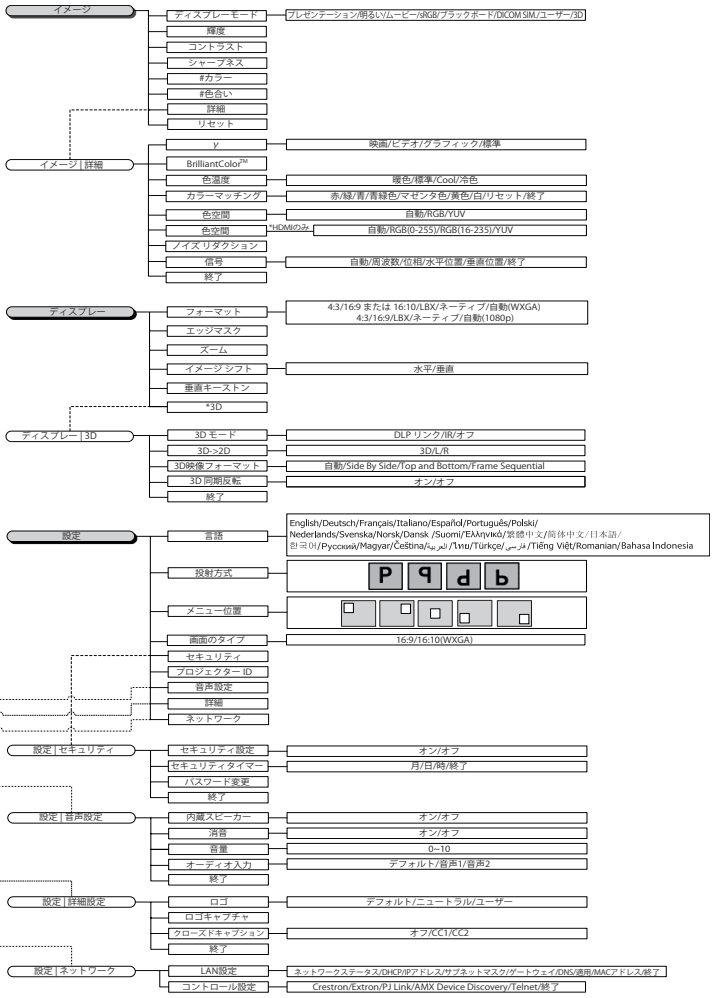
操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、◄► キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定ページで選択を行っている間、リモコンの▲▼または「ENTER」キー、またはコントロールパネルの [Enter] を押してサブメニューに入ります。
3. ▲▼ キーを使って希望する項目を選択し、◄► キーを使って設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. リモコンの「ENTER」キーを押すかコントロールパネルの [Enter] または [Menu] を押して確認すると、画面はメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

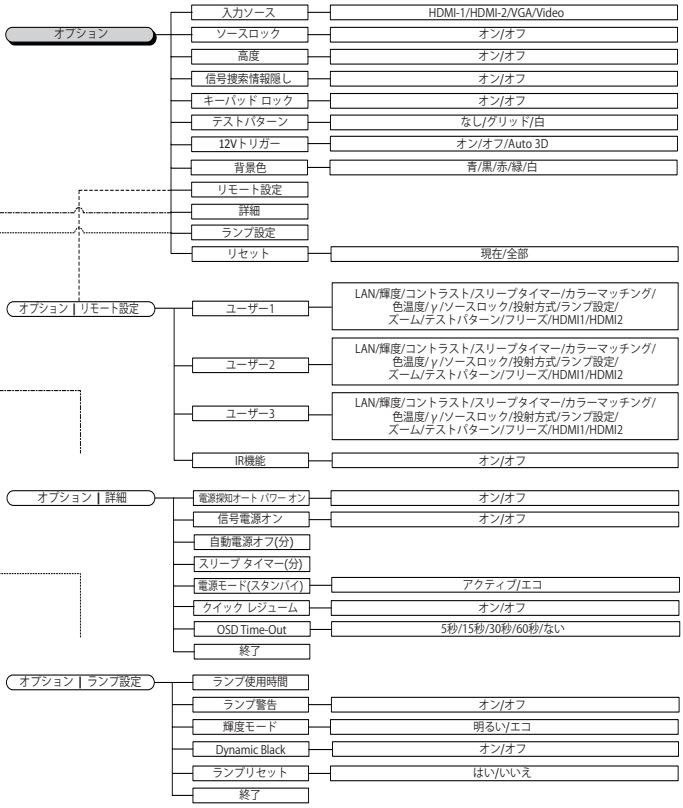
メニューツリー



注意

- (#)「色」と「色合い」はYUVビデオソースに場合にのみサポートされます。
- (*) 互換信号が供給されているとき、「3D」のみ使用できます。

ユーザーコントロール



注意

- (**) Dynamic Black がオンになっているとき、輝度モードは明るいに設定され、Dynamic 範囲は 100% ～ 30% の間に入ります。輝度モードがエコモードに なっているとき、Dynamic 範囲は 80% ～ 30% の間に入ります

ユーザーコントロール



イメージ

ディスプレーモード

さまざまな画像のタイプについて最適化されたたくさんの工場出荷初期設定があります。

- プレゼンテーション：コンピュータ入力に適した色と明るさです。
- 明るい：コンピュータ入力の最大輝度です。
- 映画：ホームシアター向けです。
- sRGB：標準化された正確な色です。
- ブラックボード：このモードはブラックボード（緑）に投射しているとき、最適の色設定を達成するために選択する必要があります。
- DICOM SIM：このディスプレーモードは、DICOM「医用デジタル画像と通信」（DICOM）で使用される機器のグレースケール/γ パフォーマンスをシミュレーションします。

重要：このモードは医療診断には絶対に使用せず、教育/訓練目的でのみ使用してください。

- User：ユーザー独自の設定。
- 3D：3D表示のユーザー調整可能設定。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀ を押して、画像を暗くします。
- ▶ を押して、画像を明るくします。

ユーザーコントロール

コントラスト

コントラストは、画像の最も明るい場所と最も暗い場所の間の差の程度をコントロールします。

- ◄を押して、コントラストを上げます。
- ►を押して、コントラストを下げます。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◄を押してシャープネスを下げます。
- ►を押してシャープネスを上げます。

カラー

ビデオ画像を白黒から完全な彩度の色までの間で調整します。

- ◄を押して、画像の色の量を低下します。
- ►を押して、画像の色の量を増加します。

色合い

赤と緑の色バランスを調整します。

- ◄を押して、画像の緑の量を増します。
- ►を押して、画像の赤の量を増します。

詳細

詳細メニューに入ります。γ、BrilliantColor™、色温度、カラーマッチング、色空間、ノイズリダクション、信号、終了などの詳細ディスプレーオプションを選択します。詳細については、26ページを参照してください。

ユーザーコントロール



イメージ | 詳細

γ

映画、ビデオ、標準からγタイプを選択します。

BrilliantColor™

この調整可能アイテムは、新しい色処理アルゴリズムとシステムレベル機能を利用し、画像にリアルでより鮮やかな色を提供すると同時に、明るさをより高めることができます。範囲は 1 から 10 です。強い画像をお好みの場合、最大設定に向けて調整します。よりスムースで自然な画像にするには最小設定に向けて調整します。

色温度

色温度を調整します。冷色は画面をより冷たく見せ、暖色は画面をより温かく見せます。

カラーマッチング

カラーマッチング メニューに入ります。詳細については、28ページを参照してください。

色空間

AUTO、RGB、YUV から適切なカラーマトリクスタイプを選択します。

► HDMIのみ: 自動、RGB（0-255）、RGB（16-235）、YUVからカラーマトリックスを選択します。

ユーザーコントロール

ノイズリダクション

モーション適応ノイズリダクションは、インターレース信号で可視ノイズの量を低下します。範囲は「0」～「10」の間です。(0=オフ)

信号

信号メニューに入ります。プロジェクタの信号特性を設定します。入力ソースがVGAをサポートしている場合に、この機能を使用できます。詳細については、29ページを参照してください。

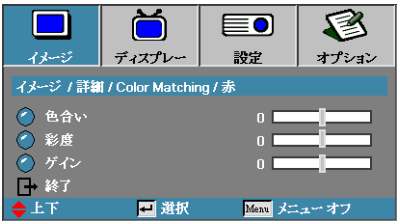
ユーザーコントロール



イメージ | 詳細 | カラーマッチング

色（白を除く）

▲▼を押して色を選択し、「ENTER」を押して色相、彩度、ゲイン設定を調整します。



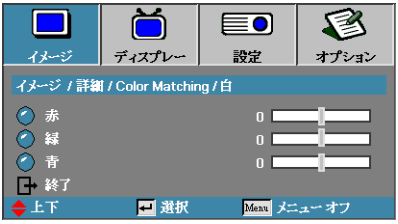
▲▼を押して色相、彩度、ゲインを選択し、◄►を押して設定を調整します。

注意

- 緑、青、青緑色、黄、マゼンタ色はそれぞれの色HSGにより個別に調整できます。
- 白はそれぞれ赤、緑、青色を調整できます。

白

▲▼を押してWhite（白）を選択し、「ENTER」を押します。



▲▼を押してRed（赤）、Green（緑）、Blue（青）を選択し、◄►を押して設定を調整します。

リセット

すべてのColor Setting（色設定）値を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

ユーザーコントロール



イメージ | 詳細 | 信号

自動

自動をオンまたはオフに設定して、位相と周波数機能のロック/ロック解除を切り替えます。

- 無効—オフ自動ロック。
- 有効—オン自動ロック。

周波数

表示データ周波数をお使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて変更します。縦線がちらつく場合は、この機能を使って調整します。

位相

位相ではディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期します。画像が不安定またはちらつく場合は、この機能を使って補正します。

水平位置

- ◄を押して画像を左に移動します。
- ►を押して画像を右に移動します。

垂直位置

- ◄を押して画像を下に移動します。
- ►を押して画像を上に移動します。

ユーザーコントロール

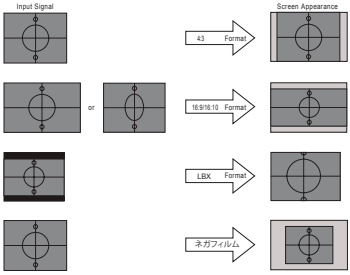


ディスプレー

フォーマット

この機能を用い、お好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3:このフォーマットは 4x3 入力ソース用で、ワイド画面 TV 向けではありません。
- 16:9/16:10:このフォーマットは HDTV や DVD など 16x9 入力ソース用で、ワイド画面向けです。
- LBX:このフォーマットは非16x9、レターボックスソース、そして外部16x9レンズを使用してフル解像度を用いる2.35:1縦横比を表示するユーザー用です。
- ネガフィルム:入力ソースの解像度によります。スケーリングは実行されません。
- 自動:適切なフォーマットを自動的に選択します。



WXGA/1080P

ユーザーコントロール

エッジマスク

エッジマスク機能は、ビデオ映像のノイズを除去します。エッジマスクは、ビデオソースのエッジで映像のビデオ符号化ノイズを除去します。

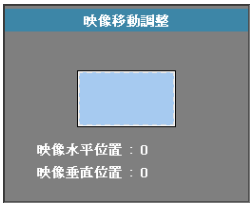
ズーム

- ◄を押して画像のサイズを小さくします。
- ►を押して投写スクリーン上の画像を大きくします。

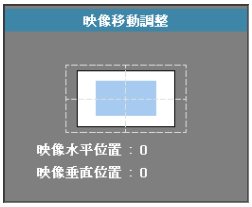
映像移動調整

投映された画像の位置を水平または垂直に動かします。

- 投映された画面上で画面を水平に動かすには ◄► を押します。
- 投映された画面上で画面を垂直に動かすには ▲▼ を押します。



ズーム ≤ 0 の場合



ズーム > 0 の場合

垂直キーストン

プロジェクタがスクリーンに対し傾斜して配置されているとき、◄または►を使って垂直方向の画像の歪みを補正します。

3D

3Dメニューに入ります。3Dモード、3D->2D、3D映像フォーマット、3D同期反転などの3Dオプションを選択します。詳細については、32ページを参照してください。

ユーザーコントロール



ディスプレー | 3D

3Dモード

- DLP Link: DLP Link 3Dメガネ向けに最適された設定を使用するには、DLP Linkを選択します。
- IR: IRベースの3D映像向けに最適化された設定を使用するには、IRを選択します。

3D→2D

3Dメガネを使用しないで3Dコンテンツを楽しむには、◀または▶を押して2D（左）または2D（右）のプロジェクタディスプレー3Dコンテンツを選択します。この設定は、デュアルプロジェクタパッシブ3Dインストールでも使用できます。

注意

3D 設定は調整後に保存されます。

3D映像フォーマット

- 自動: 3D識別信号が検出されると、3Dフォーマットが自動的に選択されます。（HDMI 1.4 3Dソースの場合のみ）
- Side By Side: Side By Sideフォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom: Top and Bottomフォーマットで3D信号を表示します。
- Frame Sequential: Frame Sequentialフォーマットで3D信号を表示します。

3D同期反転

◀または▶を押して、3D同期反転機能を有効または無効にして画像を反転します。

ユーザーコントロール



設定

言語

言語メニューに入ります。多言語 OSD メニューを選択します。詳しくは 35ページを参照してください。

投射方式

投射法を選択します：

- P フロントデスクトップ
  工場出荷時の設定です。
- ¶ リアデスクトップ
  この機能を選択すると、透過スクリーンの後方から投射できるようプロジェクタが画像を反転させます。
- d フロント天井
  この機能を選択すると、天井取付投射向けにプロジェクタが画像を上下逆さにします。
- b リア天井
  この機能を選択すると、プロジェクタが画像を反転させ、且つ上下逆さにします。天井取付投射で透過スクリーンの後方から投射することができます。

メニュー位置

表示画面上でメニューの位置を選択します。

画面のタイプ

◄► を押して、縦横比を 16:9 または 16:10 に設定します。この機能は、WXGA でのみ使用できます。

ユーザーコントロール

セキュリティ

セキュリティメニューに入ります。プロジェクタのセキュリティ機能にアクセスします。
詳しくは 36-38ページを参照してください。

プロジェクター ID

00 から 99 の間の二桁のプロジェクター ID を選択します。

音声設定

音声メニューに入ります。音声レベルプロパティを設定します。詳しくは 39ページを参照してください。

詳細

詳細メニューに入ります。スタートアップ時に表示する画面を選択します。詳しくは 40ページを参照してください。

ネットワーク

Web、PJ-Link、IPコマンド用の制御にアクセスできます。詳しくは 41ページを参照してください。

ユーザーコントロール

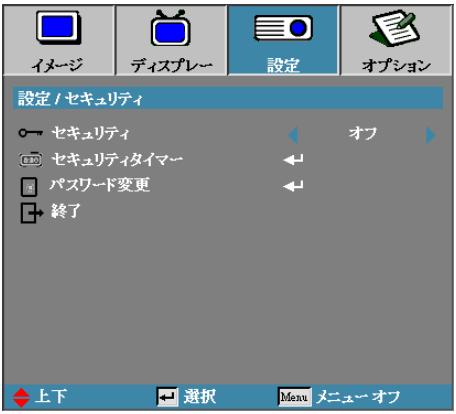


設定 / 言語

言語

多言語 OSD メニューを選択します。「ENTER」を押してサブメニューに入り、左 (◀) または右 (▶) キーを押してお好みの言語を選択します。

ユーザーコントロール



設定 | セキュリティ

セキュリティ

セキュリティパスワードを有効または無効にします。

- オン：プロジェクタの電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際して現在のパスワードが要求されます。
- オフ：システムの電源がオンになった後パスワードは必要ありません。

注意

デフォルトのパスワード:
1, 2, 3, 4, 5.

セキュリティが有効になっていると、起動時とセキュリティメニューへのアクセスが許可される前に次の画面が表示されます：



ユーザーコントロール

セキュリティタイマー

セキュリティタイマーサブメニューに入ります。



パスワードを入力せずにプロジェクタを使用できる期間を月、日、時間で入力します。設定メニューへ戻るとセキュリティタイマーが有効になります。

有効にされると、プロジェクタは指定された日付及び時間に電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際してパスワードを要求します。

プロジェクタが使用中でセキュリティタイマーが有効になっている場合、パスワードを要求する前に次の画面が 60 秒間表示されます。



ユーザーコントロール

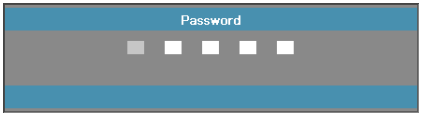
パスワード変更

このサブメニューを使ってプロジェクタのセキュリティパスワードを変更します。

1. セキュリティサブメニューからパスワード変更を選択します。パスワード変更確認ダイアログボックスが表示されます。
2. はい を選択します。



3. デフォルトのパスワード <1> <2> <3> <4> <5>を入力します。
   二つ目のパスワード画面が表示されます。



4. 新しいパスワードを確認のため 2 回入力します。

注意

誤ったパスワードが 3 回入力されると、10 秒後にプロジェクタが自動的にシャットダウンされます。

注意

新しいパスワードがマッチしない場合、パスワード画面が再度表示されます。

ユーザーコントロール



設定 | 音声設定

内蔵スピーカー

- オフ—内蔵スピーカーをオフにします。
- オン—内蔵スピーカーをオンにします。

消音

音声オンとオフを切り替えます。

- オフ—スピーカーの音量とオーディオ出力はオンになっています。
- オン—スピーカーの音量とオーディオ出力はオフになっています。

音量

◀を押して音量を下げます。

▶を押して音量を上げます。

オーディオ入力

◀▶を押してソース入力を選択します。

ユーザーコントロール



設定 | 詳細

ロゴ

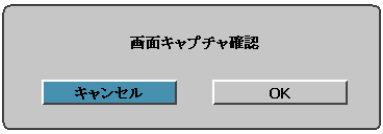
起動時に表示する画面を選択します。

- デフォルト – 工場出荷時に設定された起動画面です。
- ニュートラル – 背景色です。
- User – ロゴキャプチャ機能を使ってカスタマイズされた画面キャプチャです。

ロゴキャプチャ

起動画面として使用するため表示された画面をキャプチャします。

1. プロジェクタにお好みの画面を表示します。
2. 詳細からロゴキャプチャを選択します。
   確認画面が表示されます。



3. OK を選択します。進行中の画面キャプチャが表示されます。
   終了すると、画面キャプチャ完了が表示されます。キャプチャされた画面が User としてロゴメニューに保存されます。

注意

スタートアップ画面は一度に一つだけ保存できます。
それ以降のキャプチャは、1920 x 1200に制限された前のファイルを上書きします（付録のタイミング表を参照）

クローズドキャプション

クローズドキャプションを表示するスクリーンを選択します。

- オフ – デフォルト設定です。
- CC1 / CC2 – クローズドキャプションテキストが利用可能な場合表示されます。

ユーザーコントロール



設定 / ネットワーク

LAN設定

LAN設定メニューに入ります。詳細については、42ページを参照してください。

コントロール設定

コントロール設定メニューに入ります。詳細については、43ページを参照してください。

ユーザーコントロール



設定 | LAN設定

接続が確立されると、OSD ディスプレイに次のダイアログボックスが表示されます。

- ネットワーク状態 – ネットワーク情報を表示します。
- DHCP:

  オン: DHCP サーバから自動的にプロジェクタに IP アドレスが割り当てられます。

  オフ: IP アドレスを手動で割り当てます。
- IPアドレス – IP アドレスを選択します。
- サブネットマスク – サブネットマスク番号を選択します。
- ゲートウェイ – プロジェクタに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを選択します。
- DNS – DNS 番号を選択します。
- 適用 – Enter を押して選択を適用します。
- MACアドレス—読み取り専用。

注意

ネットワークケーブルが接続される場合のみ、ネットワークサブメニューにアクセスできます。

ユーザーコントロール



設定 | コントロール設定

Crestron

◀▶ を押してCrestronの有効/無効にチェックを入れます。

Extron

◀▶ を押してExtronの有効/無効にチェックを入れます。

PJ Link

◀▶ を押してPJ Linkの有効/無効にチェックを入れます。

AMX Device Discovery

◀▶ を押してAMX Device Discoveryの有効/無効にチェックを入れます。

Telnet

◀▶ を押してTelnetの有効/無効にチェックを入れます。

ユーザーコントロール



オプション

入力ソース

入力ソースサブメニューに入ります。起動時にスキャンするソースを選択します。詳細は 47ページを参照してください。

ソースロック

現在のソースをケーブルが抜かれていたとしても唯一利用可能なソースとしてロックします。

- ▶ オン – 現在のソースだけが入力ソースとして認識されます。
- ▶ オフ – オプション | 入力ソースで選択されたすべてのソースが入力ソースとして認識されます。

高度

環境に合わせてファン速度を調整します。

- ▶ オン – 高温、高湿、または高海抜の環境向けにファン速度を速くします。
- ▶ オフ – 一般的環境向けの通常のファン速度です。

信号捜索情報隠し

画面上の情報メッセージを隠します。

- ▶ オン – 操作中画面に状態メッセージが表示されません。
- ▶ オフ – 操作中画面上にノーマルと状態メッセージが表示されます。

ユーザーコントロール

キーパッド ロック

プロジェクタ上面パネル上のボタンをロックします。

► オン – キーパッドロックを確認する警告メッセージが表示されます。



► オフ – プロジェクタのキーパッドは通常通り機能します。

注意

ENTERキーを10秒間押してキーパッドのロックを解除します。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリット（白、緑、マゼンタ色、白、なし）があります。

12Vトリガ

◄► を押して12Vトリガが出力されているかいないかを選択します。

背景色

ソースが検出されない場合に投影画像に表示される背景色を選択します。

リモート設定

リモート設定に入ります。詳細については、48ページを参照してください。

ユーザーコントロール



詳細

詳細に入ります。詳細は 49-50ページを参照してください。

ランプ設定

ランプ設定メニューに入ります。詳細は 51-52ページを参照してください。

情報

プロジェクタの情報を表示します。

リセット

すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。

ユーザーコントロール



オプション | 入力ソース

日本語

入力ソース

このオプションを使い、入力ソースを有効または無効にします。▲または ▼ を押してソースを選択し、◀ または ▶ を押してそれを有効/無効にします。「ENTER」を押して選択を確定します。プロジェクタは選択されていない入力を検索しません。

注意

いずれかのソースを選択しないと、プロジェクタは画像を一切表示できません。少なくとも 1 つのソースを常に選択してください。

ユーザーコントロール



オプション | リモート設定

ユーザー1

ユーザー1 キーを LAN、輝度、コントラスト、スリープ タイマー、カラーマッチング、色温度、γ、ソースロック、投射方式、ランプ設定、ズーム、テストパターン、フリーズ、HDMI1、HDMI2 機能のホットキーとして設定します。

ユーザー2

ユーザー2 キーを LAN、輝度、コントラスト、スリープ タイマー、カラーマッチング、色温度、γ、ソースロック、投射方式、ランプ設定、ズーム、テストパターン、フリーズ、HDMI1、HDMI2 機能のホットキーとして設定します。

ユーザー3

ユーザー3 キーを LAN、輝度、コントラスト、スリープ タイマー、カラーマッチング、色温度、γ、ソースロック、投射方式、ランプ設定、ズーム、テストパターン、フリーズ、HDMI1、HDMI2 機能のホットキーとして設定します。

IR機能

プロジェクタのIR機能の有効または無効を切り替えます。

ユーザーコントロール



オプション | 詳細

電源探知オート パワー オン

直接電源オンを有効または無効にします。

- ► オン – AC 電源が供給されるとプロジェクタの電源が自動的に投入されます。
- ► オフ – プロジェクタの電源を通常通りに入れる必要があります。

信号電源オン

信号電源オンを有効/無効にします。

- ► オン – アクティブな信号の検出時、自動的にプロジェクタの電源が入ります。
- ► オフ – アクティブな信号が検出されることで電源オントリガを無効にします。

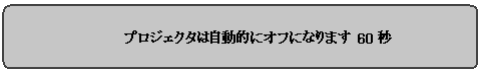
注意

1. スタンバイモードがアクティブなときのみ使用できます。
2. 信号ソースを入力し続けているとき（最後の映像ソースが画面に表示されている状態）にプロジェクタがオフになると、以下を実行しない限り再起動しません。
   a. 最後の映像ソースを終了し、信号ソースを再び入力する。
   b. プラグを抜き、再びプラグを差し込んでプロジェクタの電源を入れる。
3. 信号電源オンは「ソースロック」設定を無効にします。

ユーザーコントロール

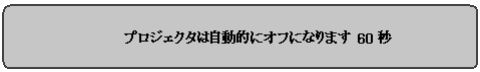
自動電源オフ（分）

オートパワーオフの間隔を設定します。プロジェクタはデフォルトで信号が 30 分間ないと自動的にランプの電源を切ります。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。



スリープタイマー（分）

スリープタイマー間隔を設定します。指定された時間活動がないと（信号に関係なく）、プロジェクタの電源が切れます。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。



注意

電源モード（スタンバイ）が省電力に設定されると、VGA・音声パススルーおよびRJ45が無効になります。RS232制御ではご利用いただける機能が限定されています。

電源モード（スタンバイ）

- エコ：「エコ」を選択すると、電力の消散が0.5ワット未満に抑えられます。
- アクティブ：「アクティブ」を選択すると通常のスタンバイに戻り、VGA出力ポートが有効になります。

クイック レジューム

クイック レジュームがオンの場合、プロジェクタは間もなく、プロジェクタの電源がオフになっているの100秒以内にバックになっているが提供するオペレーティング再開することができます。

注意

エンドユーザーが100秒待つまで、プロジェクタは100%電源がオフされた状態になりません。

OSD Time-Out

OSD の表示時間を設定します

ユーザーコントロール



オプション | ランプ設定

ランプ使用時間

ランプがそれまでに動作した時間数を表示します。この項目は表示機能のみです。

ランプ警告

ランプ寿命警告を有効または無効にします。

- オン – ランプの残り寿命が 30 時間未満になると警告メッセージが表示されます。



- オフ – 警告メッセージが表示されません。

輝度モード

ランプのブライトモードを選択します。

- 明るい – デフォルト設定です。
- エコ – ランプ寿命を延ばすために、輝度設定を下げます。

ユーザーコントロール

Dynamic Black

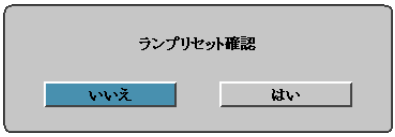
Dynamic Blackモードを選択します。

ランプリセット

ランプを交換した後、ランプカウンターをリセットして新しいランプの寿命を正しく反映させます。

1. ランプリセットを選択します。

   確認画面が表示されます。



2. はいを選択してランプカウンターをゼロにリセットします。

注意

Dynamic Black がオンになっているとき、輝度モードは明るいに設定され、Dynamic 範囲は 100% ～ 30% の間に入ります。輝度モードがエコモードに なっているとき、Dynamic 範囲は 80% ～ 30% の間に入ります。

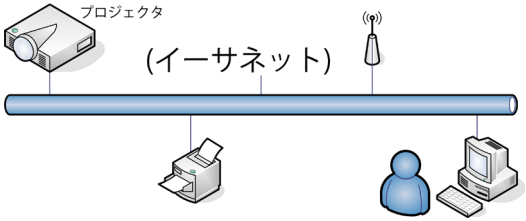
LAN_RJ45

注意

- プロジェクタはLAN に接続します。標準イーサネットケーブルを使用してください。
- ピア・ツー・ピア（PC はプロジェクタに直接接続します）。クロスオーバーイーサネットケーブルを使用してください。

操作の簡便性のため、オプトマプロジェクタはさまざまなネットワーキングとリモート管理機能を提供しています。

ネットワーク経由のプロジェクタの LAN/RJ45 機能、電源オン/オフ、輝度、コントラスト設定などのリモート管理ができます。また、ビデオソース、サウンドミュート等、プロジェクタの状態に関する情報を見ることができます。



優先LAN端末機能

プロジェクタは、PC（ノートPC）またはLAN/RJ45ポートを介したCrestron / Extron / AMX（Device Discovery）/ PJLink互換のその他の外付けデバイスによりコントロールできます。

- Crestronは米国におけるCrestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- Extronは米国におけるExtron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMXは米国におけるAMX LLCの登録商標です。
- PJLinkはJBMIAにより日本、米国、およびその他の国で商標とロゴが申請されています。

サポートされる外付けデバイス

本プロジェクタはCrestron Electronicsコントローラおよび関連するソフトウェア（RoomView®など）の指定されたコマンドによりサポートされています。

http://www.crestron.com/

本プロジェクタは、Extronデバイスの基準のサポートに適合しています。

http://www.extron.com/

本プロジェクタはAMX（ Device Discovery ）によりサポートされています。

http://www.amx.com/

ユーザーコントロール

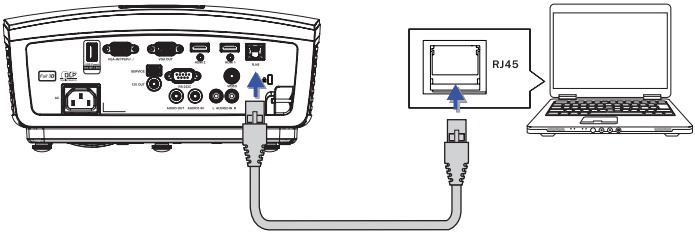
本プロジェクタはPJLink Class1（バージョン1.00）のすべてのコマンドをサポートします。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

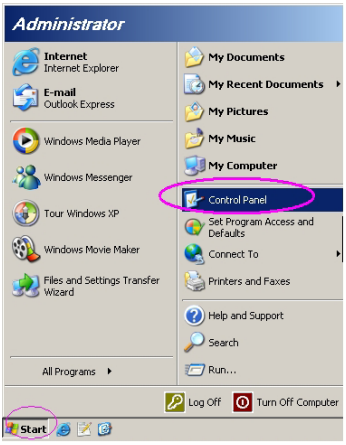
LAN/RJ45ポートに接続してリモートでコントロールできるさまざまなタイプの外付けデバイス、および各外付けデバイスをサポートする関連するコントロールコマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

LAN_RJ45

1. RJ45 ケーブルをプロジェクタと PC（ノートブック）の RJ45 ポートに接続します。

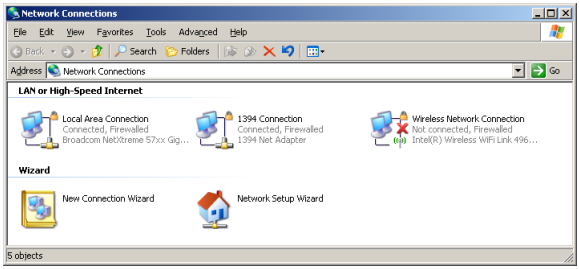


2. PC（ノートブック）上で、次を選択します。Start -> Control Panel-> Network Connections。

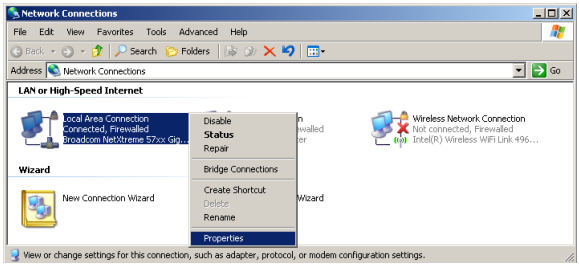


ユーザーコントロール

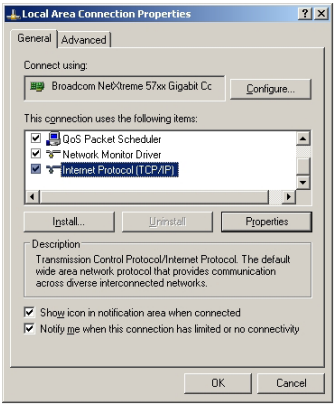
3. ローカルエリア接続上で右クリックし、Propertyを選択します。



4. Propertiesウィンドウで General タブを選択し、Internet Protocol（TCP/IP）を選択します。

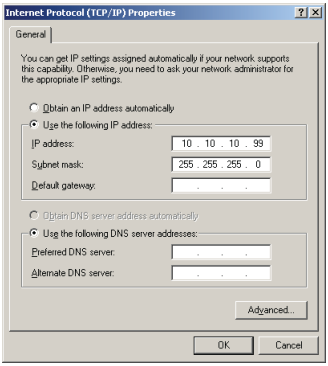


5. Properties をクリックします。

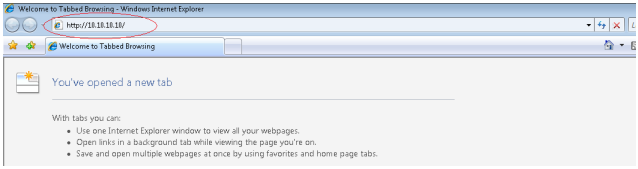


ユーザーコントロール

6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、OK を押します。



7. プロジェクタの メニューボタンを押します。
8. OSD-> 設定-> ネットワーク-> LAN 設定の順に選択します。
9. 次を入力します：
   - ► DHCP: オフ
   - ► IP アドレス: 10.10.10.10
   - ► サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ► ゲートウェイ: 0.0.0.0
   - ► DNS: 0.0.0.0
10. 「ENTER」/►を押して設定を確定します。
11. Web ブラウザを開きます（Adobe Flash Player 9.0 以上を搭載した Microsoft Internet Explorer など）。



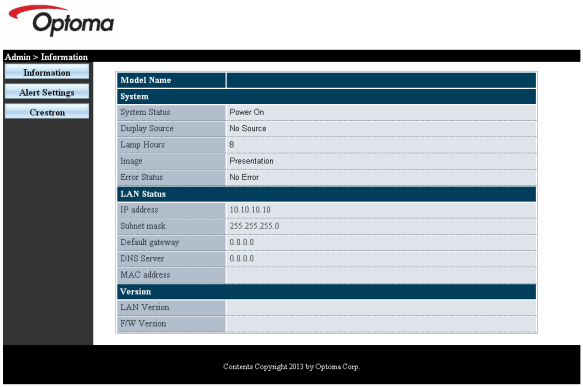
12. アドレスバーに IP アドレスを入力します: 10.10.10.10。

13.「ENTER」/ ► を押します。

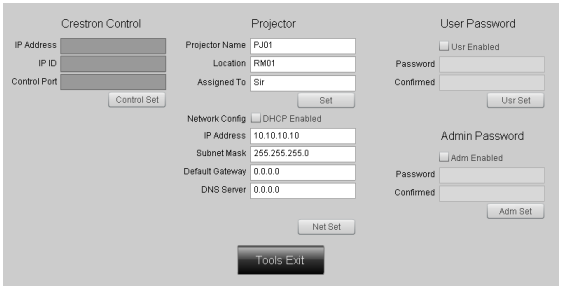
プロジェクタのリモート管理設定が設定されました。LAN/RJ45 機能は次のように表示されます。

注意

詳細については、
http://www.crestron.com
を参照してください。







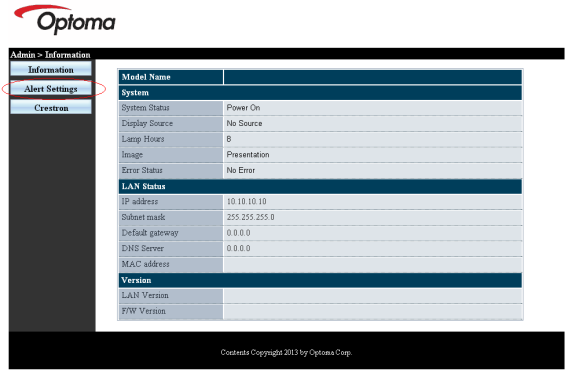
ユーザーコントロール

カテゴリ	項目	入力長
Crestron制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクタ	プロジェクタ名	10
	位置	10
	割り当て先	10
ネットワーク設定	DHCP （有効）	（N/A）
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトのゲートウェイ	15
	DNS サーバー	15
ユーザーパスワード	有効	（N/A）
	新規パスワード	10
	確定	10
管理者パスワード	有効	（N/A）
	新規パスワード	10
	確定	10

詳細情報については、http://www.crestron.com をご覧ください。

電子メールアラートを準備する

1. ユーザーが、Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer v6.01/v8.0 など）を使って LAN RJ45 機能にアクセスできることを確認します。
2. LAN/RJ45 のホームページで、アラート設定をクリックします。



ユーザーコントロール

3. デフォルトでは、アラート設定にある入力ボックスは空白です。



4. アラートメールを送信する場合、次を入力します:
   - SMTP フィールドは送信電子メール（SMTPプロトコル）用のメールサーバーです。これは必須フィールドです。
   - To（宛先）フィールドには、受信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクタ管理者など）。これは必須フィールドです。
   - Cc フィールドは、指定した電子メールアドレスにアラートのカーボンコピーを送信します。これはオプションのフィールドです（プロジェクタ管理者のアシスタントなど）。
   - From（差出人）フィールドには、送信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクタ管理者など）。これは必須フィールドです。
   - 希望するボックスにチェックを入れて、アラート条件を選択します。



注意

指示に従って、すべてのフィールドに入力します。ユーザーはSend Test Mail（テストメールの送信）をクリックして、どの設定が正しいかテストできます。電子メールアラートの送信に成功するには、アラート条件を選択し正しい電子メールアドレスを入力する必要があります。

ユーザーコントロール

Telnet機能によるRS232

プロジェクタは専用のRS232コマンドコントロールによる「ハイパーターミナル」通信でRS232インターフェースに接続できるだけでなく、LAN/RJ45インターフェースでいわゆる「RS232 by TELNET」にも接続できます

「RS232 by TELNET」のクイックスタートガイド

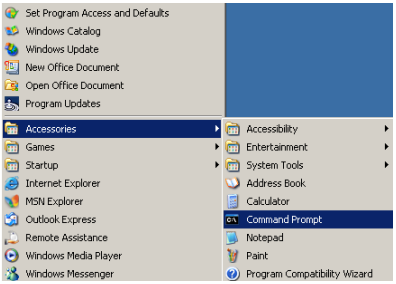
プロジェクタのOSDでIPアドレスをチェックし、取得してください。

ノートPC/PCがプロジェクタのWebページにアクセスできることを確認してください。

「TELNET」機能がノートPC/PCにより取り除かれている場合、「Windowsファイアーウォール」設定を無効にしていることを確認してください。



1. スタート => すべてのプログラム => アクセサリ => コマンドプロンプト。



ユーザーコントロール

2. 以下のように、コマンドフォーマットを入力します。

   telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23（「Enter」キーを押す）

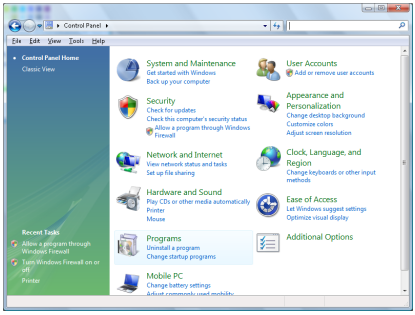
   （*ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクタのIPアドレス*）

3. Telnet接続の準備が完了しユーザーがRS232コマンドを入力できるようになったら、「Enter」キーを押します。RS232コマンドが作動します。

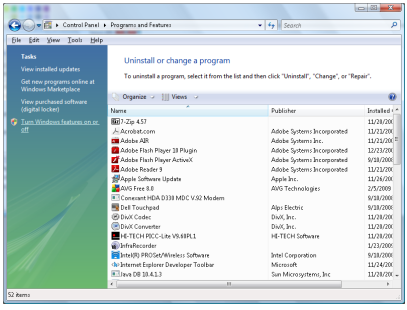
Windows VISTA / 7でTELNETを有効にする方法

Windows VISTAのデフォルトのインストールに、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは「Windows機能の有効化または無効化」を有効にすることでこの機能を取得できます。

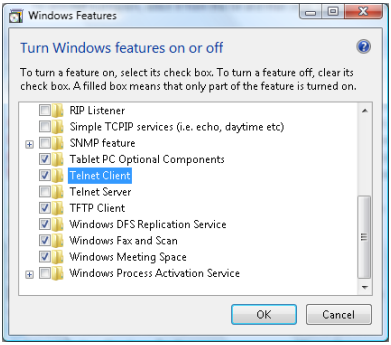
1. Windows VISTAで「コントロールパネル」を開きます。



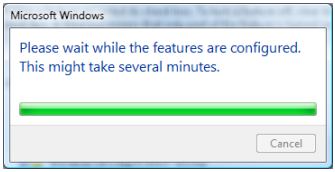
2. 「プログラム」を開きます。



3. 「Windows機能の有効化または無効化」を選択して開きます。



4. 「Telnetクライアント」オプションのチェックボックスをオンにし、「OK」ボタンを押します。



「RS232 by TELNET」のスプレッドシート:

1. Telnet: TCP。
2. Telnetポート: 23（詳細については、サービス代理店またはチームにお問い合わせください）。
3. Telnetユーティリティ: Windows「TELNET.exe」（コンソールモード）。
4. RS232-by-Telnetコントロールの通常切断: TELNET接続の準備ができたら、Windows Telnetユーティリティを直接閉じます。

   Telnet-Controlの制限1: Telnet-Controlアプリケーションの連続的なネットワークペイロードに、50バイトもありません。

   Telnet-Controlの制限2: Telnet-Controlの完全なRS232コマンドに26バイトもありません。

   Telnet-Controlの制限3: 次のRS232コマンドの最小遅延は200（ms）以下に抑える必要があります。

   （*、Windows XPに組み込まれた「TELNET.exe」ユーティリティで、「Enter」キーを押すと「改行」と「復帰改行」コードが有効になります。）

故障かなと思ったら

問題が発生した場合は、以下の情報をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合せください。

画像

? スクリーンに映像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクター ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。

? 画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射スクリーンがプロジェクターから必要な距離を離れていることを確認します。16-17ページを参照してください。

? 16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、映像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBX フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD でフォーマットを LBX に変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 とフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

付録

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- レンズからズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- プロジェクターパネルで「メニュー」を押し、「ディスプレー -->フォーマット」に進みます。

画像の両側が斜めになる:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央でかつスクリーンの真下にくるように配置し直し、PureShift を使って画像位置に合わせます。
- OSD から「ディスプレー --> 垂直キーストン」を使用して調整を行います。

イメージが反転する

- OSD から「システム --> 投射方式」を選択し、投射方向を調整します

その他

プロジェクターがすべての操作不可能です

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源に再び接続します。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(67ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

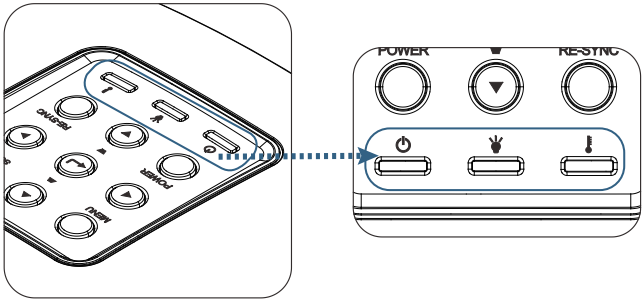
プロジェクタ LED 状態インジケータ

メッセージ	電源 LED (緑)	温度インジケータ LED (赤)	ランプインジケータ LED (赤)
スタンバイ状態（電源コード接続済）	ゆっくり点滅 2秒オフ 2 秒オン	○	○
電源オン（ウォーミング）	点滅 0.5秒オフ 0.5 秒オン	○	○
電源オン&ランプ点灯	☼	○	○
電源オフ（冷却）	点滅 1 秒オフ 1 秒オン	○	○
エラー（ランプトラブル）	点滅 0.5秒オフ 0.5 秒オン	○	☼
エラー（ファントラブル）	点滅 0.5秒オフ 0.5 秒オン	点滅 0.5秒オフ 0.5 秒オン	○
エラー（過熱）	点滅 0.5秒オフ 0.5 秒オン	☼	○
クイック レジューム（100秒）	点滅 0.25秒オフ 0.25 秒オン	○	○

注意

安定した光 => ☼

光なし => ○



付録

LED 状態

オンスクリーンメッセージ

- ファン故障:

  プロジェクタ自動的にスイッチがオフになります。

- 過温度:

  プロジェクタ自動的にスイッチがオフになります。

- ランプの交換:
  間きなくランプの寿命ガ切わます。

  ラソプを交換してください



リモコン

警告:

純正ランプのみ使用してください。

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタの IR レシーバーから水平および垂直方向に ±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

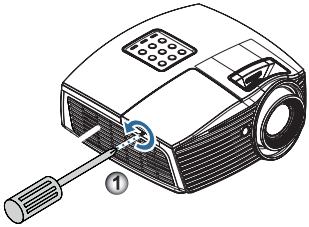


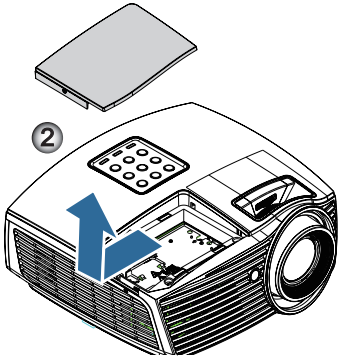
このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分に放熱するまで約最低 30 分お待ちください。

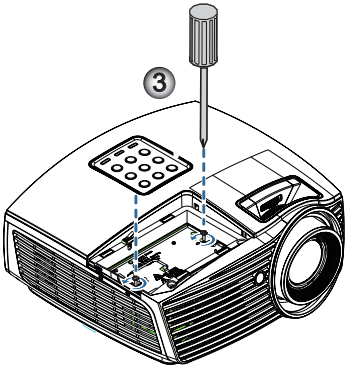
警告: ランプ周辺は高熱になっています。放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。

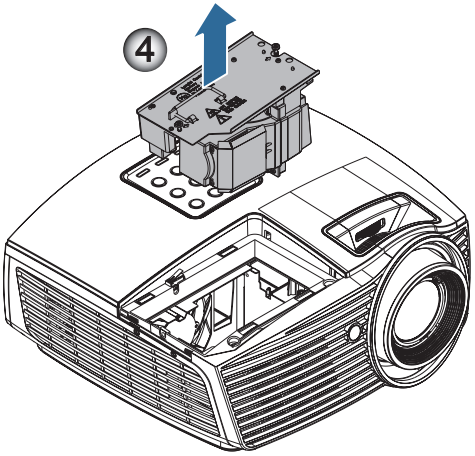
警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

付録









ランプ交換手順:

1. 電源ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフに切り替えます。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ランプ周辺カバーの単一ネジを取り外します。❶
5. ランプ周辺カバーを取り外します。❷
6. ランプモジュールから 2 本のネジを抜きます。
   モジュールのハンドルを持ち上げます。❸
7. モジュールハンドルをしっかりと引っ張って、ランプモジュールを外します。❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。取り付けているとき、ランプモジュールをコネクタに揃え、損傷を避けるために水平になっていることを確認します。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。
   ランプリセット: (i)「メニュー」を押し -> (ii)「オプション」-> (iii)「ランプ設定」->(iv)「ランプリセット」-> (v)「はい」の順に選択します

付録

互換モード

ビデオ互換性

NTSC	NTSC M/J, 3.58MHz, 4.43MHz
PAL	PAL B/D/G/H/I/M/N, 4.43MHz
SECAM	SECAM B/D/G/K/K1/L, 4.25/4.4 MHz
SDTV	480i/p, 576i/p
HDTV	720p（50/60Hz）, 1080i（50/60Hz）, 1080P（50/60Hz）

ビデオタイミングの詳細説明

信号	解像度	リフレッシュ速度（Hz）	注記
TV（NTSC）	720 x 480	60	Composite Video（ビデオ）/S-Video（Sビデオ）の場合
TV（PAL, SECAM）	720 x 576	50	
SDTV（480I）	720 x 480	60	コンポーネントの場合
SDTV（480P）	720 x 480	60	
SDTV（576I）	720 x 576	50	
SDTV（576P）	720 x 576	50	
HDTV（720p）	1280 x 720	50/60	
HDTV（1080I）	1920 x 1080	50/60	
HDTV（1080p）	1920 x 1080	24/50/60	

コンピュータの互換性 - VESA標準

コンピュータの信号（アナログRGB互換）

信号	解像度	リフレッシュ速度（Hz）	注記
VGA	640 X 480	60/67/72/85	Mac 60/72/85/
SVGA	800 X 600	56/60（*2）/72/85/120（*2）	Mac 60/72/85
XGA	1024 X768	48/50（*4）/60（*2）/70/75/85/120（*2）	Mac 60/70/75/85
HDTV（720P）	1280 x 720	50/60（*2）/120（*2）	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 60/75/85
	1280 x 800	48/50（*4）60	Mac 60
WXGA（*3）	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV（1080p）	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200（*1）	60	Mac 60

(*1) 1920 x 1200 @60HzはRB（リデュースドブランキング）のみをサポートします。

(*2) 3D 対応プロジェクタ (STD) および True 3Dプロジェクタ用の3Dタイミング。（オプション）

(*3) Widnows 8標準タイミング

(*4) ネーティブ解像度は@50hzをサポートする必要があります

付録

HDMI/DVI-Dの入力信号

信号	解像度	リフレッシュ速度（Hz）	注記
VGA	640 x 480	60	Mac 60/72/85
SVGA	800 x 600	60（*2）/72/85/120（*2）	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	48/50/60（*2）/70/75/85/120（*2）	Mac 60/70/75/85
SDTV（480i）	720 x 480	60	
SDTV（480p）	720 x 480	60	
SDTV（576i）	720 x 576	50	
SDTV（576p）	720 x 576	50	
WSVGA（1024 x 600）	1024 x 600	60	
HDTV（720p）	1280 x 720	50/60（*2）/120（*2）	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
	1280 x 800	48/60（*2）/50	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV（1080i）	1920 x 1080	50/60	
HDTV（1080p）	1920 x 1080	24/30/50/60/120	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200（*1）	50/60	Mac 60

(*1) 1920 x 1200 @60HzはRB（リデュースドブランキング）のみをサポートします。

(*2) 3D 対応プロジェクタ (STD) および True 3Dプロジェクタ用の3Dタイミング。（オプション）

True 3Dビデオ互換表

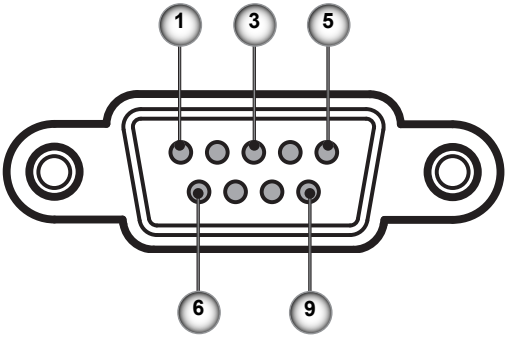
入力解像度	入力タイミング		
HDMI 1.4a 3D Input	1280 x 720p @50Hz	Top-and–Bottom	
	1280 x 720p @60Hz	Top-and–Bottom	
	1280 x 720p @50Hz	フレームパッキング	
	1280 x 720p @60Hz	フレームパッキング	
	1920 x 1080i @50Hz	Side By Side（半分）	
	1920 x 1080i @60Hz	Side By Side（半分）	
	1920 x 1080p @24Hz	Top and Bottom	
	1920 x 1080p @24Hz	フレームパッキング	
HDMI 1.3	1920 x 1080i @50Hz	Side By Side（半分）	Side By Sideモードはオンです
	1920 x 1080i @60Hz		
	1280 x 720p @50Hz		
	1280 x 720p @60Hz		
	1920 x 1080i @50Hz	Top-and-Bottom	Tabモードはオンです
	1920 x 1080i @60Hz		
	1280 x 720p @50Hz		
	1280 x 720p @60Hz		
	480i	HQFS	3D映像フォーマットがFrame Sequential（フレームシーケンシャル）

- 3D入力が1080p @24Hzの場合、DMDは3Dモードにより整数倍で再生される必要があります。
- 1080i @25Hzと720p @50Hzは100Hzで作動します。他の3Dタイミングは120Hzで作動します。

付録

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232 ピン割り当て（プロジェクタ側）



ピン番号	名前	I/O （プロジェクター側から）
1	NC	__
2	RXD	IN
3	TXD	OUT
4	NC	__
5	NC	__
6	NC	__
7	RS232	RTS
8	RS232	CTS
9	NC	__

RS232 プロトコル機能リスト

SEND to projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Description	
~XX00 1	7E 30 30 30 30 20 31 0D	Power ON		
~XX00 0	7E 30 30 30 30 20 30 0D	Power OFF	(0/2 for backward compatible)	
~XX00 1 ~nnnnn	7E 30 30 30 30 20 31 20 a 0D	Power ON with Password	~nnnnn = ~00000 (a=7E 30 30 30 30 30) ~99999 (a=7E 39 39 39 39 39)	
~XX01 1	7E 30 30 30 31 20 31 0D	Resync		
~XX02 1	7E 30 30 30 32 20 31 0D	AV Mute	On	
~XX02 0	7E 30 30 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX03 1	7E 30 30 30 33 20 31 0D	Mute	On	
~XX03 0	7E 30 30 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX04 1	7E 30 30 30 34 20 31 0D	Freeze		
~XX04 0	7E 30 30 30 34 20 30 0D	Unfreeze	(0/2 for backward compatible)	
~XX05 1	7E 30 30 30 35 20 31 0D	Zoom Plus		
~XX06 1	7E 30 30 30 36 20 31 0D	Zoom Minus		
~XX12 1	7E 30 30 31 32 20 31 0D	Direct Source Commands	HDMI	
~XX12 5	7E 30 30 31 32 20 35 0D		VGA1	
~XX12 6	7E 30 30 31 32 20 36 0D		VGA 2	
~XX12 9	7E 30 30 31 32 20 39 0D		S-Video	
~XX12 10	7E 30 30 31 32 20 31 30 0D		Video	
~XX12 20	7E 30 30 31 32 20 32 30 0D		DisplayPort	
~XX20 1	7E 30 30 32 30 20 31 0D	Display Mode	Presentation	
~XX20 2	7E 30 30 32 30 20 32 0D		Bright	
~XX20 3	7E 30 30 32 30 20 33 0D		Movie	
~XX20 4	7E 30 30 32 30 20 34 0D		sRGB	
~XX20 5	7E 30 30 32 30 20 35 0D		User	
~XX20 7	7E 30 30 32 30 20 37 0D		Blackboard	
~XX20 13	7E 30 30 32 30 21 33 0D		DICOM SIM.	
~XX20 9	7E 30 30 32 30 20 39 0D		3D	
~XX21 n	7E 30 30 32 31 20 a 0D	Brightness	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)	
~XX22 n	7E 30 30 32 32 20 a 0D	Contrast	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)	
~XX23 n	7E 30 30 32 33 20 a 0D	Sharpness	n = 1 (a=30 31) ~ 15 (a=31 35)	
~XX327 n	7E 58 58 33 32 37 20 a 0D	Color Matching	Red Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX328 n	7E 58 58 33 32 38 20 a 0D		Green Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX329 n	7E 58 58 33 32 39 20 a 0D		Blue Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX330 n	7E 58 58 33 33 30 20 a 0D		Cyan Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX331 n	7E 58 58 33 33 31 20 a 0D		Yellow Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX332 n	7E 58 58 33 33 32 20 a 0D		Magenta Hue	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX333 n	7E 58 58 33 33 33 20 a 0D		Red Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX334 n	7E 58 58 33 33 34 20 a 0D		Green Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX335 n	7E 58 58 33 33 35 20 a 0D		Blue Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX336 n	7E 58 58 33 33 36 20 a 0D		Cyan Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX337 n	7E 58 58 33 33 37 20 a 0D		Yellow Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX338 n	7E 58 58 33 33 38 20 a 0D		Magenta Saturation	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX339 n	7E 58 58 33 33 39 20 a 0D		Red Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX340 n	7E 58 58 33 34 30 20 a 0D		Green Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX341 n	7E 58 58 33 34 31 20 a 0D		Blue Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX342 n	7E 58 58 33 34 32 20 a 0D		Cyan Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX343 n	7E 58 58 33 34 33 20 a 0D		Yellow Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX344 n	7E 58 58 33 34 34 20 a 0D		Magenta Gain	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX345 n	7E 58 58 33 34 35 20 a 0D		White/R	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX346 n	7E 58 58 33 34 36 20 a 0D		White/G	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX347 n	7E 58 58 33 34 37 20 a 0D		White/B	n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX34 n	7E 30 30 33 34 20 a 0D	BrilliantColorTM		n = 1 (a=30 31) ~ 10 (a=31 30)
~XX35 1	7E 30 30 33 35 20 31 0D	Gamma	Film	
~XX35 2	7E 30 30 33 35 20 32 0D		Video	
~XX35 3	7E 30 30 33 35 20 33 0D		Graphics	
~XX35 4	7E 30 30 33 35 20 34 0D		Standard	
~XX36 4	7E 30 30 33 36 20 34 0D	Color Temp.	Warm (D55)	
~XX36 1	7E 30 30 33 36 20 31 0D		Standard (D65)	
~XX36 2	7E 30 30 33 36 20 32 0D		Cool (D75)	
~XX36 3	7E 30 30 33 36 20 33 0D		Cold (D83)	
~XX37 1	7E 30 30 33 37 20 31 0D	Color Space	Auto	
~XX37 2	7E 30 30 33 37 20 32 0D		RGB\ RGB(0-255)	
~XX37 3	7E 30 30 33 37 20 33 0D		YUV	
~XX37 4	7E 30 30 33 37 20 34 0D		RGB(16 - 235)	
~XX73 n	7E 30 30 37 33 20 a 0D	Signal	Frequency	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By signal
~XX91 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D		Automatic	On
~XX91 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D			Off
~XX74 n	7E 30 30 37 34 20 a 0D		Phase	n = 0 (a=30) ~ 31 (a=33 31) By signal
~XX75 n	7E 30 30 37 35 20 a 0D		H. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX76 n	7E 30 30 37 36 20 a 0D		V. Position	n = -5 (a=2D 35) ~ 5 (a=35) By timing
~XX45 n	7E 30 30 34 34 20 a 0D	Color (Saturation)		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30)
~XX44 n	7E 30 30 34 35 20 a 0D	Tint		n = -50 (a=2D 35 30) ~ 50 (a=35 30))
~XX60 1	7E 30 30 36 30 20 31 0D	Format	4:3	

付録

~XX60 2	7E 30 30 36 30 20 32 0D		16:9	
~XX60 3	7E 30 30 36 30 20 33 0D		16:10(WXGA)	
~XX60 5	7E 30 30 36 30 20 35 0D		LBX	
~XX60 6	7E 30 30 36 30 20 36 0D		Native	
~XX60 7	7E 30 30 36 30 20 37 0D		Auto	
~XX61 n	7E 30 30 36 31 20 a 0D	Edge mask	n = 0 (a=30) ~ 10 (a=31 30)	
~XX62 n	7E 30 30 36 32 20 a 0D	Zoom	n = -5 (a=2D 35) ~ 25 (a=32 35)	
~XX63 n	7E 30 30 36 33 20 a 0D	H Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)	
~XX64 n	7E 30 30 36 34 20 a 0D	V Image Shift	n = -100 (a=2D 31 30 30) ~ 100 (a=31 30 30)	
~XX66 n	7E 30 30 36 36 20 a 0D	V Keystone	n = -40 (a=2D 34 30) ~ 40 (a=34 30)	
~XX230 1	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	DLP-Link	
~XX230 3	7E 30 30 32 33 30 20 31 0D	3D Mode	IR	
~XX400 0	7E 30 30 34 30 30 20 30 0D	3D→2D	3D	
~XX400 1	7E 30 30 34 30 30 20 31 0D		L	
~XX400 2	7E 30 30 34 30 30 20 32 0D		R	
~XX405 0	7E 30 30 34 30 35 20 30 0D	3D Format	Auto	
~XX405 1	7E 30 30 34 30 35 20 31 0D		SBS	
~XX405 2	7E 30 30 34 30 35 20 32 0D		Top and Bottom	
~XX405 3	7E 30 30 34 30 35 20 33 0D		Frame sequential	
~XX231 0	7E 30 30 32 33 31 20 30 0D	3D Sync Invert	On	
~XX231 1	7E 30 30 32 33 31 20 31 0D	3D Sync Invert	Off	
~XX70 1	7E 30 30 37 30 20 31 0D	Language	English	
~XX70 2	7E 30 30 37 30 20 32 0D		German	
~XX70 3	7E 30 30 37 30 20 33 0D		French	
~XX70 4	7E 30 30 37 30 20 34 0D		Italian	
~XX70 5	7E 30 30 37 30 20 35 0D		Spanish	
~XX70 6	7E 30 30 37 30 20 36 0D		Portuguese	
~XX70 7	7E 30 30 37 30 20 37 0D		Polish	
~XX70 8	7E 30 30 37 30 20 38 0D		Dutch	
~XX70 9	7E 30 30 37 30 20 39 0D		Swedish	
~XX70 10	7E 30 30 37 30 20 31 30 0D		Norwegian/Danish	
~XX70 11	7E 30 30 37 30 20 31 31 0D		Finnish	
~XX70 12	7E 30 30 37 30 20 31 32 0D		Greek	
~XX70 13	7E 30 30 37 30 20 31 33 0D		Traditional Chinese	
~XX70 14	7E 30 30 37 30 20 31 34 0D		Simplified Chinese	
~XX70 15	7E 30 30 37 30 20 31 35 0D		Japanese	
~XX70 16	7E 30 30 37 30 20 31 36 0D		Korean	
~XX70 17	7E 30 30 37 30 20 31 37 0D		Russian	
~XX70 18	7E 30 30 37 30 20 31 38 0D		Hungarian	
~XX70 19	7E 30 30 37 30 20 31 39 0D		Czechoslovak	
~XX70 20	7E 30 30 37 30 20 32 30 0D		Arabic	
~XX70 21	7E 30 30 37 30 20 32 31 0D		Thai	
~XX70 22	7E 30 30 37 30 20 32 32 0D		Turkish	
~XX70 23	7E 30 30 37 30 20 32 33 0D		Farsi	
~XX70 25	7E 30 30 37 30 20 32 35 0D		Vietnamese	
~XX70 26	7E 30 30 37 30 20 32 36 0D		Indonesian	
~XX70 27	7E 30 30 37 30 20 32 37 0D		Romanian	
~XX71 1	7E 30 30 37 31 20 31 0D	Projection	Front-Desktop	
~XX71 2	7E 30 30 37 31 20 32 0D		Rear-Desktop	
~XX71 3	7E 30 30 37 31 20 33 0D		Front-Ceiling	
~XX71 4	7E 30 30 37 31 20 34 0D		Rear-Ceiling	
~XX72 1	7E 30 30 37 32 20 31 0D	Menu Location	Top Left	
~XX72 2	7E 30 30 37 32 20 32 0D		Top Right	
~XX72 3	7E 30 30 37 32 20 33 0D		Centre	
~XX72 4	7E 30 30 37 32 20 34 0D		Bottom Left	
~XX72 5	7E 30 30 37 32 20 35 0D		Bottom Right	
(WXGA)				
~XX90 1	7E 30 30 39 31 20 31 0D	Screen Type	16:10	
~XX90 0	7E 30 30 39 31 20 30 0D		16:9	
~XX77 n	7E 30 30 37 37 20 aabbcc 0D	Security	Security Timer	Month/Day/Hour n = mm/dd/hh mm= 00 (aa=30 30) ~ 12 (aa=31 32) dd = 00 (bb=30 30) ~ 30 (bb=33 30) hh= 00 (cc=30 30) ~ 24 (cc=32 34)
~XX78 1	7E 30 30 37 38 20 31 0D		Security Settings	Enable
~XX78 0 ~nnnnn	7E 30 30 37 38 20 32 20 a 0D			Disable(0/2 for backward compatible) ~nnnnn = ~00000 (a=7E 30 30 30 30 30) ~99999 (a=7E 39 39 39 39 39)
~XX79 n	7E 30 30 37 39 20 a 0D	Projector ID	n = 00 (a=30 30) ~ 99 (a=39 39)	
~XX80 1	7E 30 30 38 30 20 31 0D	Mute	On	
~XX80 0	7E 30 30 38 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX310 0	7E 30 33 31 30 20 30 0D	Internal Speaker	Off	
~XX310 1	7E 30 33 31 30 20 31 0D		On	
~XX81 n	7E 30 30 38 31 20 a 0D	Volume(Audio)	n = 0 (a=30 30) ~ 10 (a=31 30)	
~XX89 0	7E 30 30 38 39 20 30 0D	Audio Input	Default	
~XX89 1	7E 30 30 38 39 20 31 0D		Audio1	
~XX89 3	7E 30 30 38 39 20 33 0D		Audio2	
~XX82 1	7E 30 30 38 32 20 31 0D	Logo	Default	

~XX82 2	7E 30 30 38 32 20 32 0D		User	
~XX82 3	7E 30 30 38 32 20 33 0D		Neutral	
~XX83 1	7E 30 30 38 33 20 31 0D	Logo Capture		
~XX88 0	7E 30 30 38 38 20 30 0D	Closed Captioning	Off	
~XX88 1	7E 30 30 38 38 20 31 0D		cc1	
~XX88 2	7E 30 30 38 38 20 32 0D		cc2	
~XX454 0	7E 30 30 34 35 34 20 30 0D	Crestron	Off	
~XX454 1	7E 30 30 34 35 34 20 31 0D		On	
~XX455 0	7E 30 30 34 35 35 20 30 0D	Extron	Off	
~XX455 1	7E 30 30 34 35 35 20 31 0D		On	
~XX456 0	7E 30 30 34 35 36 20 30 0D	PJLink	Off	
~XX456 1	7E 30 30 34 35 36 20 31 0D		On	
~XX457 0	7E 30 30 34 35 37 20 30 0D	AMX Device Discovery	Off	
~XX457 1	7E 30 30 34 35 37 20 31 0D		On	
~XX458 0	7E 30 30 34 35 38 20 30 0D	Telnet	Off	
~XX458 1	7E 30 30 34 35 38 20 31 0D		On	
~XX100 1	7E 30 30 31 30 30 20 31 0D	Source Lock	On	
~XX100 0	7E 30 30 31 30 30 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX101 1	7E 30 30 31 30 31 20 31 0D	High Altitude	On	
~XX101 0	7E 30 30 31 30 31 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX102 1	7E 30 30 31 30 32 20 31 0D	Information Hide	On	
~XX102 0	7E 30 30 31 30 32 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX103 1	7E 30 30 31 30 33 20 31 0D	Keypad Lock	On	
~XX103 0	7E 30 30 31 30 33 20 30 0D		Off (0/2 for backward compatible)	
~XX195 0	7E 30 30 31 39 35 20 30 0D	Test Pattern	None	
~XX195 1	7E 30 30 31 39 35 20 31 0D		Grid	
~XX195 2	7E 30 30 31 39 35 20 32 0D		White Pattern	
~XX192 0	7E 30 30 31 39 32 20 30 0D	12V Trigger	Off	
~XX192 1	7E 30 30 31 39 32 20 31 0D		On	
~XX192 3	7E 30 30 31 39 32 20 33 0D		Auto 3D	
~XX11 0	7E 30 30 31 31 20 30 0D	IR Function	Off	
~XX11 1	7E 30 30 31 31 20 31 0D		On	
~XX104 1	7E 30 30 31 30 34 20 31 0D	Background Color	Blue	
~XX104 2	7E 30 30 31 30 34 20 32 0D		Black	
~XX104 3	7E 30 30 31 30 34 20 33 0D		Red	
~XX104 4	7E 30 30 31 30 34 20 34 0D		Green	
~XX104 5	7E 30 30 31 30 34 20 35 0D		White	
~XX105	7E 30 30 31 30 35 20 31 0D	Advanced	Direct Power On	On
~XX105 0	7E 30 30 31 30 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX113 0	7E 30 30 31 31 33 20 30 0D		Signal Power On	Off
~XX113 1	7E 30 30 31 31 33 20 31 0D			On
~XX106 n	7E 30 30 31 30 36 20 a 0D		Auto Power Off (min)	n = 0 (a=30) ~ 180 (a=31 38 30) (5 minutes for each step).
~XX107 n	7E 30 30 31 30 37 20 a 0D		Sleep Timer (min)	n = 0 (a=30) ~ 990 (a=39 39 30) (30 minutes for each step).
~XX115 1	7E 30 30 31 31 35 20 31 0D		Quick Resume	On
~XX115 0	7E 30 30 31 31 35 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX114 1	7E 30 30 31 31 34 20 31 0D		Power Mode(Standby)	Eco.(<=0.5W)
~XX114 0	7E 30 30 31 31 34 20 30 0D			Active (0/2 for backward compatible)
~XX109 1	7E 30 30 31 30 39 20 31 0D		Lamp Reminder	On
~XX109 0	7E 30 30 31 30 39 20 30 0D			Off (0/2 for backward compatible)
~XX110 1	7E 30 30 31 31 30 20 31 0D		Brightness Mode	Bright
~XX110 2	7E 30 30 31 31 30 20 32 0D			Eco.
~XX191 0	7E 30 30 31 39 31 20 30 0D		DynamicBlack	Off
~XX191 1	7E 30 30 31 39 31 20 31 0D			On
~XX111 1	7E 30 30 31 31 31 20 31 0D		Lamp Reset	Yes
~XX111 0	7E 30 30 31 31 31 20 30 0D			No (0/2 for backward compatible)
~XX112 1	7E 30 30 31 31 32 20 31 0D	Reset		Yes
~XX210 n	7E 30 30 32 30 30 20 n 0D	Display message on the OSD		n: 1-30 characters

付録

SEND to emulate Remote

~XX140 10	7E 30 30 31 34 30 20 31 30 0D	Up
~XX140 11	7E 30 30 31 34 30 20 31 31 0D	Left
~XX140 12	7E 30 30 31 34 30 20 31 32 0D	Enter (for projection MENU)
~XX140 13	7E 30 30 31 34 30 20 31 33 0D	Right
~XX140 14	7E 30 30 31 34 30 20 31 34 0D	Down
~XX140 15	7E 30 30 31 34 30 20 31 35 0D	Keystone +
~XX140 16	7E 30 30 31 34 30 20 31 36 0D	Keystone –
~XX140 17	7E 30 30 31 34 30 20 31 37 0D	Volume –
~XX140 18	7E 30 30 31 34 30 20 31 38 0D	Volume +
~XX140 19	7E 30 30 31 34 30 20 31 39 0D	Brightness
~XX140 20	7E 30 30 31 34 30 20 32 30 0D	Menu
~XX140 21	7E 30 30 31 34 30 20 32 31 0D	Zoom
~XX140 28	7E 30 30 31 34 30 20 32 38 0D	Contrast
~XX140 47	7E 30 30 31 34 30 20 34 37 0D	Source

SEND from projector automatically

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
when Standby/Warming/Cooling/Out of Range/Lamp fail/Fan Lock/Over Temperature/ Lamp Hours Running Out/Cover Open				
			INFOn	n : 0/1/2/3/4/6/7/8/ = Standby/Warming/Cooling/Out of Range /Lamp fail/Fan Lock/Over Tmperature/ Lamp Hours Running Out/Cover Open

READ from projector

232 ASCII Code	HEX Code	Function	Projector Return	Description
~XX121 1	7E 30 30 31 32 31 20 31 0D	Input Source Commands	OKn	n: 0/2/3/4/5/7/15 = None/VGA1/VGA2/Video/S-Video/HDMI/ DisplayPort
~XX122 1	7E 30 30 31 32 32 20 31 0D	Sofware Version	OKdddd	dddd: FW version
~XX123 1	7E 30 30 31 32 33 20 31 0D	Display Mode	OKn	n : 0/1/2/3/4/5/6/7/8/ None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/ User/Blackboard/DICOM SIM./3D
~XX124 1	7E 30 30 31 32 34 20 31 0D	Power State	OKn	n : 0/1 = Off/On
~XX125 1	7E 30 30 31 32 35 20 31 0D	Brightness	OKn	
~XX126 1	7E 30 30 31 32 36 20 31 0D	Contrast	OKn	
~XX127 1	7E 30 30 31 32 37 20 31 0D	Format	OKn	n: 1/2/3/5/6/7 = 4:3/16:9/16:10/LBX/Native/AUTO *16:9 or 16:10 depend on Screen Type setting
~XX128 1	7E 30 30 31 32 38 20 31 0D	Color Temperature	OKn	n :3/0/1/2 = Warm/Standard/Cool/Cold
~XX129 1	7E 30 30 31 32 39 20 31 0D	Projection Mode	OKn	n : 0/1/2/3 = Front-Desktop/ Rear-esktop/ Front-Ceiling/ Rear-Ceiling
~XX150 1	7E 30 30 31 35 30 20 31 0D	Information	OKabbbbccddddе	a : 0/1 = Off/On bbbb: LampHour cc: source 00/02/03/04/05/07/08/15 = None/VGA1/VGA2/Video/S-Video/HDMI /DisplayPort dddd: FW version e : Display mode 0/1/2/3/4/5/7/12/9 = None/Presentation/Bright/Movie/sRGB/ User/Blackboard/ DICOM SIM /3D
~XX151 1	7E 30 30 31 35 31 20 31 0D	Model name	OKn	n:3/4=WXGA/1080p
~XX108 1	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Lamp Hours	OKbbbb	bbbb: LampHour
~XX108 2	7E 30 30 31 30 38 20 31 0D	Cumulative Lamp Hours	OKbbbbb	bbbbb: (5 digits) Total Lamp Hours
~XX87 1	7E 30 30 38 37 20 31 0D	Network Status	Okn	n=0/1 Disconnected/Connected
~XX87 3	7E 30 30 38 37 20 33 0D	IP Address	Okaaa_bbb_ccc_ddd	
~XX351 0	7E 30 30 33 35 31 20 30 0D	Fan1 speed(blower)	Oka	a=0000~9999
~XX352 1	7E 30 30 33 35 32 20 31 0D	System temperature	Oka	a=000~999
~XX353 1	7E 30 30 33 35 33 20 31 0D	Serial number	Okaaaaaaaaaaaaaaaa	a=serial number string
~XX354 1	7E 30 30 33 35 34 20 31 0D	Closed Captioning	Oka	a: 0/1/2 = off/cc1/cc2
~XX355 1	7E 30 30 33 35 35 20 31 0D	AV Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX356 1	7E 30 30 33 35 36 20 31 0D	Mute	Oka	a : 0/1 = Off/On
~XX357 1	7E 30 30 33 35 37 20 31 0D	LAN FW version	Okeeeee	eeeee: LAN FW version
~XX358 1	7E 30 30 33 35 38 20 31 0D	Current lamp watt	Okaaaa	a : 0000~9999

Telnetコマンド

- ポート: 23/1023/2023の3ポートのサポート
- マルチ接続: プロジェクタは同時に異なるポートからコマンドを受け取ることができました
- コマンドフォーマット: RS232コマンドフォーマットに従います（ASCIIとHEのサポート）
- コマンドレスポンス: RS232復帰メッセージに従います。

Lead Code	Projector ID		Command ID			Space	Variable	Carriage Return
~	xx		xx				n	CR
Fix code One Digit~	00		Defined by Optoma 2 or 3 Digit. See the Follow content			One Digit	Per item Definition	Fix code One Digit

注意

- WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。

AMX Device Discoveryコマンド

- DP: 239.255.250.250
- ポート番号 : 9131
- 以下のような各UDPブロードキャスト情報は、約40秒で更新されます

Command	Description	Remark（Parameter）
Device-UUID	MAC address（Hex value without ':' separator）	12 digits
Device-SKDClass	The Duet DeviceSdk class name	VideoProjector
Device-Make	Maker name	MakerPXLW
Device-Model	Model name	Projector

付録

Command	Description	Remark (Parameter)
Config-URL	Device's IP address LAN IP address is shown up if LAN IP address is valid. Wireless LAN IP address is shown up if Wireless LAN IP address is valid.	http://xxx.xxx.xxx.xxx/index.html
Revision	The revision must follow a major.minor.micro scheme. The revision is only increased if the command protocol is modified.	1.0.0

注意

- WXGA（ワイドスクリーン解像度）の場合、互換性サポートはノートPC/PCモデルに依存します。
- このAMX機能はAMX Device Discoveryのみをサポートします。
- ブロードキャスト情報は有効なインターフェースを通してのみ送信されます。
- LANとワイヤレスLANのインターフェースはどちらも同時にサポートできます。
- 「ビーコンバリデータ」が使用された場合。以下の情報に注意してください。

PJLink™のサポートされるコマンド

以下の表では、PJLink™プロトコルを使用してプロジェクタをコントロール右するコマンドを示しています。

コマンド説明備考（パラメータ）

Command	Description	Remark（Parameter）
POWR	Power control	0 = Standby
		1 = Power on
POWR?	Inquiry about the power state	0 = Standby
		1 = Power on
		2 = Cooling down
		3 = Warming up
INPT	INPT Input switching	11 = VGA1

注意

このプロジェクタはJBMIA PJLink™ Class 1の仕様に完全に適合しています。PJLink™ Class 1で定義されたすべてのコマンドをサポートし、コンプライアンスがPJLink™ 標準仕様バージョン1.0で確認されました

Command	Description	Remark（Parameter）
INPT?	Inquiry about input switching	12 = VGA2
		13 = Component
		14 = BNC
		21 = VIDEO
		22 = S-VIDEO
		31 = HDMI 1
		32 = HDMI 2
AVMT	Mute control	30 = Video and audio mute disable
AVMT?	Inquiry about the mute state	31 = Video and audio mute enable
ERST?	Inquiry about the error state	1st byte: Fan error, 0 or 2
		2nd byte: Lamp error, 0 to 2
		3rd byte: Temperature error, 0 or 2
		4th byte: Cover open error, 0 or 2
		5th byte: Filter error, 0 or 2
		6th byte: Other error, 0 or 2
		0 to 2 mean as follows: 0 = No error detected, 1 = Warning, 2 = Error
LAMP?	Inquiry about the lamp state	1st value（1 to 5 digits）: Cumulative LAMP operating time（This item shows a lamp operating time（hour）calculated based on that LAMP MODE is LOW.）
		2nd value: 0 = Lamp off, 1 = Lamp on
INST?	Inquiry about the available inputs	The following value is returned. “11 12 21 22 31 32”
NAME?	Inquiry about the projector name	The projector name set on the NETWORK menu or the ProjectorView Setup window is returned
INF1?	Inquiry about the manufacturer name	“Optoma” is returned.

Command	Description	Remark（Parameter）
INF2?	Inquiry about the model name	"EH7700" is returned.
INF0?	Inquiry about other information	No other information is available. No parameter is returned.
CLSS?	Inquiry about the class information	"1" is returned.

Trademarks

- DLP is trademarks of Texas Instruments.
- IBM is a trademark or registered trademark of International Business Machines Corporation.
- Macintosh, Mac OS X, iMac, and PowerBook are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows, Windows Vista, Internet Explorer and PowerPoint are either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- AMX Device Discovery

  The pro.jector is monitored and controlled by the control system of AMX.
- Crestron RoomView Connected™

  The projector is monitored and controlled by the control system and software of Crestron Electronics, Inc.
- PJLink™

  PJLink trademark is a trademark applied for registration or is already registered in Japan, the United States of America and other countries and areas.

  This projector supports standard protocol PJLink™ for projector control and you can control and monitor projector's operations using the same application among projectors of different models and different manufacturers.

- Other product and company names mentioned in this user's manual may be the trademarks or registered trademarks of their respective holders.
- About Crestron RoomView Connected™

  Electronics, Inc. to facilitate configuration of the control system of Crestron and its target devices.

  For details, see the website of Crestron Electronics, Inc.

  URL http://www.crestron.com

  URL http://www.crestron.com/getroomview/

付録

予めご了承ください

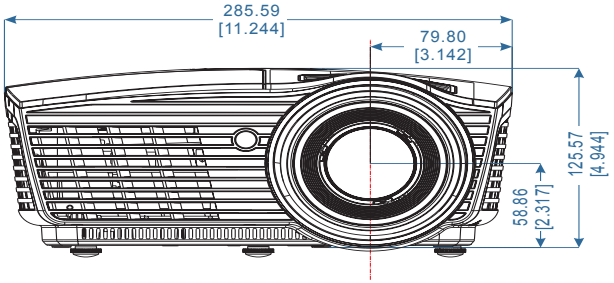
1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. サードパーティ製の天吊り用キットを使用する場合、プロジェクターを取り付けるために使用されるねじが次の仕様を満たしていることを確認してください:
   - ネジの種類: M4
   - 最大ネジ長: 11mm
   - 最小ネジ長: 9mm

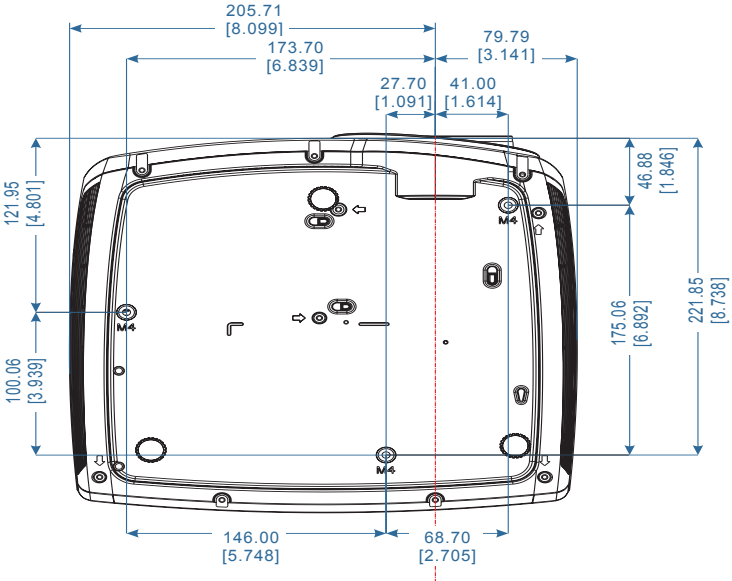
注意

プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。

警告:

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズはキットごとに異なります。プレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。





Optoma 社お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.,
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

電話：888-289-6786
Fax：510-897-8601
電子メール：services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.,
Fremont, CA 94538, USA
www.optoma.ca

電話：888-289-6786
Fax：510-897-8601
電子メール：services@optoma.com

南米

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optoma.com.br

電話：888-289-6786
Fax：510-897-8601
www.optoma.com.mx

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
カスタマーサービス 電話:
+44 (0)1923 691865

電話：+44 (0) 1923 691 800
Fax：+44 (0) 1923 691 888
電子メール：
service@tsc-europe.com

ベネルクス

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

電話：+31 (0) 36 820 0252
Fax：+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

電話：+33 1 41 46 12 20
Fax：+33 1 41 46 94 35
電子メール：savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

電話：+34 91 499 06 06
Fax：+34 91 670 08 32

付録

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

電話：+49 (0) 211 506 6670
FAX：+49 (0) 211 506 66799
電子メール：info@optoma.de

スカンディナヴィア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

電話：+47 32 98 89 90
FAX：+47 32 98 89 99
電子メール：info@optoma.no

台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.

www.optoma.com.tw

電話：+886-2-8911-8600
FAX：+886-2-8911-6550
電子メール：
services@optoma.com.tw

asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan Kowloon, Hong Kong
電話：+852-2396-8968
FAX：+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

電話：+86-21-62947376
FAX：+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

日本

東京都足立区綾瀬 3-25-18
株式会社オーエス

コンタクトセンター：0120-380-495
電子メール：info@os-worldwide.com
http://www.os-worldwide.com/

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

電話：+82+2+34430004
FAX：+82+2+34430005

規制と安全通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC 通知

この機器は、FCC 規則の Part 15 / RSS-210 に基づいて試験が実施され、デジタル デバイス クラス B の限度値に適合していることが確認されています。これらの限度値は、住宅地でこれらの機器が利用される際に、有害な電波干渉に対して適切な保護を提供することを目的に、設定されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用および放射するため、取扱説明書に従わずに設置および使用した場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす恐れがあります。

しかしながら、一定の設置に対して、電波干渉は必ず発生しないという保証はありません。この機器が実際にラジオやテレビの受信障害を引き起こす場合 （機器の電源をオンやオフに切り替えることで確認できます） は、以下のいずれかの方法を1つまたは1つ以上お試しいただき、電波干渉を改善されることをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えたり、設置場所を変えてみる。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC 規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります

注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造がメーカーに無断で行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

付録

操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラス B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国に対する適合宣言

- EMC 指令 2004/108/EC （修正案を含む）
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE 指令 1999/5/EC
  （製品に赤外線機能が付いている場合）
- RoHS 指令 2011/65
- エネルギー関連製品 (ErP) 指令 2009/125/EC

廃棄に関する指示



この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。